

令和 3 年度
自転車イベント開催における共通感染症対策業務及び調査研究事業
調査報告書

調査研究について

●目的

令和3年度に（一財）日本自転車普及協会が主催する自転車イベントを開催するにあたり、昨今猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行い、「新様式」での自転車イベント、自転車競技大会の運営スタイルを構築する。

また本業務で実施した対策について、業務完了後に調査研究報告書としてとりまとめ、そのノウハウを他の自転車関連イベント、競技大会主催者等に情報提供して活用する。

●対象事業

本研究は、下記2事業への取り組みについて考察することにより実施する。

- | | |
|--|------------------------|
| ・ 2021 Tour of Japan（富士山ステージ、相模原ステージ、東京ステージ） | 2021年5月28日（金）～5月30日（日） |
| ・ HANDMADE BICYCLE 2022（科学技術館：千代田区北の丸公園） | 2022年1月22日（土）、23日（日） |

*当初予定していた「サイクルドリームフェスタ2021」はオンライン開催に切り替えたため対象事業からは除外し、代わりに、2021年11月21日（日）開催の「伊豆大島御神火ライド」を調査対象事業とした。

目次

はじめに	2
------	---

【総括】

■ 総括・考察まとめ	5
1. 感染対策チームの設置	5
2. 行動履歴と健康観察	5
3. 検査体制	5
4. 検温所の設置	6
5. 参加者（選手）の感染対策	6
6. 会場内・スタッフの感染対策	6
7. イベント関係者の事後の感染状況の把握	7

【Tour of Japan】

■ 実施概要	9
■ Tour of Japanにおける感染対策	11
Tour of Japanにおける感染対策実施の概要	12
接触定義	13
行動履歴・健康観察報告の提出	14
感染疑似症者発生時の対応	14

■ 感染対策チームの設置	15
感染対策チーム内の配置実績	17
■ 新型コロナウイルス対策マニュアルの作成	20
■ バブル方式	22
■ 行動履歴・健康観察報告フォーム	30
■ 会場における検温所体制	34
■ 結果報告	39
事前PCR検査、抗原検査体制と結果	40
行動履歴・健康観察報告フォームの結果	42
各会場における検温所 集計結果	43
大会中の個別対応	44
考察まとめ	45
■ 手配物と当日の様子	47
検査キット(セミバブル)	50
感染症対策備品	51
富士山ステージの様子	54
相模原ステージの様子	55
東京ステージの様子	56
その他の様子	57

目次

【伊豆大島御神火ライド】

■ 伊豆大島御神火ライド概要	59
伊豆大島御神火ライドにおける感染対策実施の概要	60
行動履歴・健康観察報告の提出	61
感染疑似症者発生時の対応	61
■ 行動履歴・健康観察報告	62
■ 会場における検温所体制	66
■ 結果報告	69
■ 考察まとめ	71
1.メイン会場	71
2.行動履歴と健康観察入力	71
3.検温所の体制	71
4.沿道上のエイド	71
5.マスクの統一ルール	72
■ 会場・エイドの様子	73

【2022ハンドメイドバイシクル展】

■ ハンドメイドバイシクル展開催概要	78
■ ハンドメイドバイシクル展における感染対策	80
ハンドメイドバイシクル展における 感染対策実施の概要	80
感染対策の具体的実施事項	81
感染対策チーム組織体制図	82
感染対策マニュアル作成	83
健康観察・行動履歴報告の申請フォームの提出	84
抗原検査の実施・結果の申告	84
感染疑似症者発生時の対応	85
感染対策員の配置	85
混雑状況表示モニターの設置	85
■ 行動履歴・健康観察報告	86
■ 会場における検温所体制	90
■ 結果報告	93
■ 考察まとめ	95
■ 会場の様子/手配物	97
参考・出典文献	101
調査実施団体	102

1. 感染対策チームの設置

イベントにおける感染対策を行う上で、イベントのセクションとして感染対策を専門に行うチームを設置することは下記のことから有効と考える。

- * 新型コロナウイルス感染症は未だ変異を続けて猛威を振るう未知の感染症であり、常に新しい情報を専門家の知見から対策に落とし込む必要がある
- * イベント当日だけでなく、事前の検査体制や健康観察などを必要とする場合、通常の事務局体制では管理が行き届かない
- * イベントに関わるほぼすべての設計において感染対策の考慮が必要であり、横断的に感染対策を主眼とした立場からのチェック機能が必要である

2. 行動履歴と健康観察

- ・ 行動履歴および健康観察の記録は、対象者に対し多くの負担を強いる。イベントの開催地域におけるその時々での感染蔓延状況をふまえ、必要な日数、項目を設定する必要がある。
- ・ 観察記録を管理する上では、コロナ禍において様々な有料アプリケーションなども開発されている。管理者の負担の軽減と入力する観察対象者双方の負担軽減・効率化をふまえ選定するとよい。
- ・ 健康観察の記録として使用されるスマートフォン専用のアプリケーションなどは、スマートフォン不所持などの理由で実施できない対象者がいることも想定しなければならない。代替えとして、書面への記入・提出といった方法も準備をする必要がある。
- ・ 健康観察を行う上で重要なのは、健康状態に異常がみられた場合に、イベントへの参加の判断や適切な対応について医療面での相談体制が整っていることである。

3. 検査体制

- ・ イベント等への参加要件として、PCR検査または抗原検査にて陰性確認を行うことは、無症状陽性者や発症前の陽性者を除外するためには有効な手段である
- ・ ウイルスの変異によりその特性に変化が生じ、検査の有効性についても変動がある。例えば、2021年上半期に猛威を振るったインド型のデルタ株から下半期には新たな変異株である南アフリカ型のオミクロン株へと置き換わったが、オミクロン株は感染から発症までの潜伏期間がデルタ株よりも短く、検査はイベント開催日より近い日に実施することが必要になった。今後においても、現在（2022年3月）ではオミクロン株の同一系統で「BA.2」とよばれる変異ウイルスへの置き換わりが懸念されており、その特性を常に見極めて有効な検査実施計画をたてる必要がある。
- ・ 抗原検査は、感染の可能性を確認する上では有効であるが、厚生労働省が薬事承認しているキットを使用すべきである

4. 検温所の設置

- ・ イベント会場やイベント参加者の当日の検温は、発熱者の除外の意味で水際対策として有効である。
- ・ 検温に使用する機器は、屋外や暑熱環境下では精度が低下する物が散見される。使用する環境をふまえて選定すべきである
- ・ 検温には一定の時間がかかる。イベント会場の入口などで実施する場合、一定の時間における入場者数（被検温者数）を割り出した上で体制を構築する必要がある。
- ・ 検温所では、検温のみでの判断が難しい場合がある（体温は軽微にしか上がっていないが、その他の風邪症状やコロナ関連症状がある、など）。また、サーモグラフィ型の検温機は、実測の体温計に比べ精度が劣ることが多い。それらのことから、看護師等の医療従事者が検温、問診などを行える2次検温所を設けることが望ましい。
- ・ 検温所の設置・運用は、会場内オペレーション上、スムーズなイベント運営を行う上で支障がでてしまうことがある。1度検温した方にはリストバンドやステッカー等で検温済みであることがわかるようにし、別途再入場通路を設ける等の配慮を検討するとよい。

5. 参加者（選手）の感染対策

- ・ マスクの着用規則を明確にし周知することが重要である。マスクはサージカルマスクの着用の徹底が効果的である。
- ・ バブル方式をとる場合、徹底したゾーニングが求められる。また、レースバブル外のスタッフやメディア等がバブル内に入る場合の条件などを明確化しそれを遵守させることが重要である。
- ・ イベントが複数日程に及ぶ場合、競技中よりもむしろ宿泊場所や移動中、および食事会場などでの感染リスクが高いため、生活面での感染対策を徹底すべきである。競技中以外の新型コロナウイルス感染症を疑う発熱や上気道症状などを呈する競技者やスタッフが発生した場合に、参加者のクラスター発生を防ぐために、医師を中心としたCOVID対策医療チームを帯同させ、速やかに感染者対応することが望まれる。また、医師の帯同の代替策として、看護師や救急救命士を帯同させ、医師のオンライン指示・助言体制をとることも有効である。
- ・ ケガ等での医療機関の受診についてもバブルから外れることになるため、可能な限りバブル内での救護体制を充実させておく。

6. 会場内・スタッフの感染対策

- ・ マスクの着用規則を明確にし周知することが重要である。マスクはサージカルマスクの着用の徹底が効果的である。
- ・ アルコール消毒ポンプは、入場口だけでなく、可能な限り多くの場所に設置されることが望ましい。
- ・ 商談スペースなどでは、マスク着用と合わせフェイスシールド等アイガードの着用で一層の感染対策を行うことが望ましい。
- ・ 会場内での密を避ける対策を講じる（看板設置、巡回スタッフによる呼びかけ、並び列などでの足場を示すシールの設置、会場内の混雑状況の掲示など）。
- ・ イベント中にスタッフや来場者の中でコロナ関連症状が発生した時に備え、救護所を設ける。

7. イベント関係者の事後の感染状況の把握

- ・ イベントに関わった人の中で、事後数日以内にコロナ陽性が判明した場合に、ただちに情報が主催者にて集約できる体制をとる必要がある。
- ・ 事後に陽性者が発生した場合の参加者、関係者への周知方法について、事前に協議しておく必要がある。
- ・ 事後にも感染対策において医療的な相談体制をとっておくことが望ましい。

2021 Tour of Japan



2021年5月28日（金）～5月30日（日）

実施概要

実施概要

【名称】	UCI 公認国際自転車ロードレース 『2021 Tour of Japan』（アジアツアー・レースクラス2.2）
【主催】	自転車月間推進協議会
【主管】	ツアー・オブ・ジャパン組織委員会（事務局：一般財団法人日本自転車普及協会）
【競技主管】	公益財団法人日本自転車競技連盟
【後援】	自転車活用推進議員連盟/自転車活用推進本部/内閣府/総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省 消費者庁/東京都/神奈川県/静岡県/公益財団法人JKA/健康日本21推進全国連絡協議会
【協力】	小山町（静岡県駿東郡）/相模原市/東京港埠頭株式会社
【特別協賛】	株式会社車両スポーツ映像/日本トーター株式会社
【協賛】	井上ゴム工業株式会社/一般社団法人自転車協会/株式会社Champion System Japan THULE/ヤマハ発動機株式会社/ダイドードリンコ株式会社/株式会社シマノ MAVIC JAPAN株式会社/株式会社ゼンリン/株式会社NIPPO/株式会社キナン Bryton Inc./株式会社フカヤ/株式会社ミヤタサイクル/Honolulu Century Ride 2021 BRISBANE TO GOLD COAST CYCLE CHALLENGE 2021/株式会社マトリックス 株式会社オージーケーカブト/大分市・OITAサイクルフェス実行委員会 東京サンエス株式会社/みずほ銀行/芙蓉総合リース株式会社
【出場チーム】	全16チーム（UCIコンチネンタルチーム/ナショナルチーム/クラブチーム/大学チーム）
【チーム編成】	8名（選手5名/監督1名/メカニック1名/マッサー1名）
【競技規則】	UCI（国際自転車競技連合）規則及び本大会特別規則による
【開催日程】	2021年5月28日～2021年5月30日

Tour of Japanにおける感染対策

Tour of Japanにおける感染対策実施の概要

- (1)感染症対策チームの設置、帯同（医師を含む）
- (2)TOJホームページにおける関係者・参加者・観客に向けた本ガイドラインの掲載及び周知
- (3)関係者・（観客を除く）参加者は、大会開催2週間前から大会終了まで、行動履歴及び朝夕2回の検温、健康状態の記録を所定のフォームにて提出を徹底
- (4)関係者・参加者は、大会終了後1週間は各自の体調変化に留意し、発熱や体調不良等の症状が表れた場合は、主催者に申告し、濃厚接触者等の確認を行う
- (5)大会で規定された参加者は、大会参加前1週間以内にPCRまたはLAMP検査を受け、陰性を確認した後、大会参加前24時間以内に抗原検査（定性または定量）を受け、陰性を確認
- (6)感染者発覚後の隔離（スペース確保を含む）、医療機関受診、濃厚接触者の確認等プロセスの明確化
- (7)感染症罹患が発生した場合に備え、各開催地における医療機関や保健所と連携を図る
- (8)大会会場における入退場動線作成及びサーモグラフィ設置による検温を実施し、発熱者や体調不良者は入場禁止
- (9)大会会場の各所に、手指消毒液及び感染防止対策注意喚起看板を配置
- (10)大会会場や公共の場におけるウイルスや飛沫が付着した可能性があるゴミ類（マスク、ティッシュペーパー、紙類、ペットボトル等飲食に使用した容器や包装、カトラリー等）の放置・廃棄禁止、密閉の上、持ち帰りを徹底
- (11)フィジカル・ディスタンスに留意し、常時マスクを着用する
- (12)各食事会場、食事中においては、フィジカル・ディスタンスに留意し、極力会話を控える
- (13)大会コミュニケ、スタートリスト、リザルト等は、極力メーリングリストやSNSを使用した配布とし、ペーパーレス化を図る
- (14)以下に該当する方は、大会へのいかなる参加（大会会場への来場、観戦含）も不可とする
 - ①過去1週間以内から大会会場来場当日までに、下記a～dを含む体調不良のある方
 - a. 体温37.5℃以上
 - b. 強い倦怠感
 - c. 感冒様症状（咳、咽頭痛、息苦しさ等）
 - d. 味覚・嗅覚異常などの異変がある
 - ②PCR、LAMP、抗原検査受診結果が陽性で、下記a～dに該当する方
 - a. 有症状で、発症日から10日未満、かつ症状軽快後72時間以内
 - b. 症状軽快後24時間経過から、24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR検査で陰性を確認できていない
 - c. 無症状病原体保有者は、陰性確認から10日未満
 - d. 検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR検査陰性を確認できていない
 - ③濃厚接触者として自宅待機中、または家族が濃厚接触者として自宅待機中
 - ④家族に①のa～dいずれかの体調不良者がいる

接触定義

●濃厚接触者

濃厚接触者は、新型コロナウイルスに感染が確認された方と近距離で接触、或いは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指す。Tour of Japanでは、開催時点で厚生労働省により定義されている基準をもとに下記を濃厚接触者と定めた。

●Tour of Japanにおける濃厚接触者

濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は、距離の近さと時間の長さである。

必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1 m程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられる。

新型コロナウイルス感染者から、ウイルスがうつる可能性がある期間（発症2日前から入院等をした日まで）に接触のあった方々について、関係性、接触の程度などについて、保健所が調査（積極的疫学調査）を行い、個別に濃厚接触者に該当するかどうか判断する。

なお、15分間、感染者と至近距離にいたとしても、マスクの有無、会話や歌唱など発声を伴う行動や対面での接触の有無など、「3密」の状況などにより、感染の可能性は大きく異なる。そのため、最終的に濃厚接触者にあたるかどうかは、このような具体的な状況をお伺いして判断する。

●スポーツ種別における濃厚接触者の予測

濃厚接触者の断定は、最終的に管轄の保健所により行われるが、スポーツ競技中の選手間での接触について、どこまでを濃厚接触とするかは都度想定しておく必要がある。Tour of Japanで行った想定は以下の通りである。

<濃厚接触者に該当する可能性あり>

- ・所属チームメンバー（選手、スタッフ、監督）で宿泊、食事、移動を共にしていた人
- ・審判、ニュートラル、メディア、撮影、運営関係の自動車と同乗していた人
- ・運営事務局、準備室などで共に作業をしていた人

<濃厚接触者に該当する可能性が低い>

- ・ロードレースでの集団走行、スタート整列、屋外で3密を回避したミーティング

*考え方

コロナ禍でのイベント実施において、陽性者の発生はもはや想定の内とすべきである。陽性者が発生した際に、いかに濃厚接触者を発生させないか、という観点で対策をとることが重要である。競技によってはどうしても近距離で一定時間のマスクなしでの接触が発生してしまうことはあるが、競技直前まで最大限の対策をとることと、終了後ただちにマスクを装着することなどの対策が必要である。

*濃厚接触者を最小限にすること

バブル内において陽性者が発生した際、濃厚接触者についても隔離措置の対象となる。競技に参加できないだけでなく、その後一定期間の私生活にも影響がでる。これを最小限に抑えることが重要であり、特に生活面での行動をなるべく少人数で行う、練習会場への移動、練習などを最少人数で設定するなどの対策が必要となる。

行動履歴・健康観察報告の提出

Tour of Japanでは、各バブルにおいて大会2週間前から大会終了までの期間、毎日、所定のフォーム（Googleフォーム）を使用したチェック表の提出を義務とした。

●方法

QRコードから各自入力フォームをダウンロードしてもらい、基本情報を入力、その後、大会期間前は日々当日の20:00までに体温、健康チェック、簡単な行動履歴を入力する。大会期間中は当日朝7:00までに入力を終えてイベントに参加することとした。

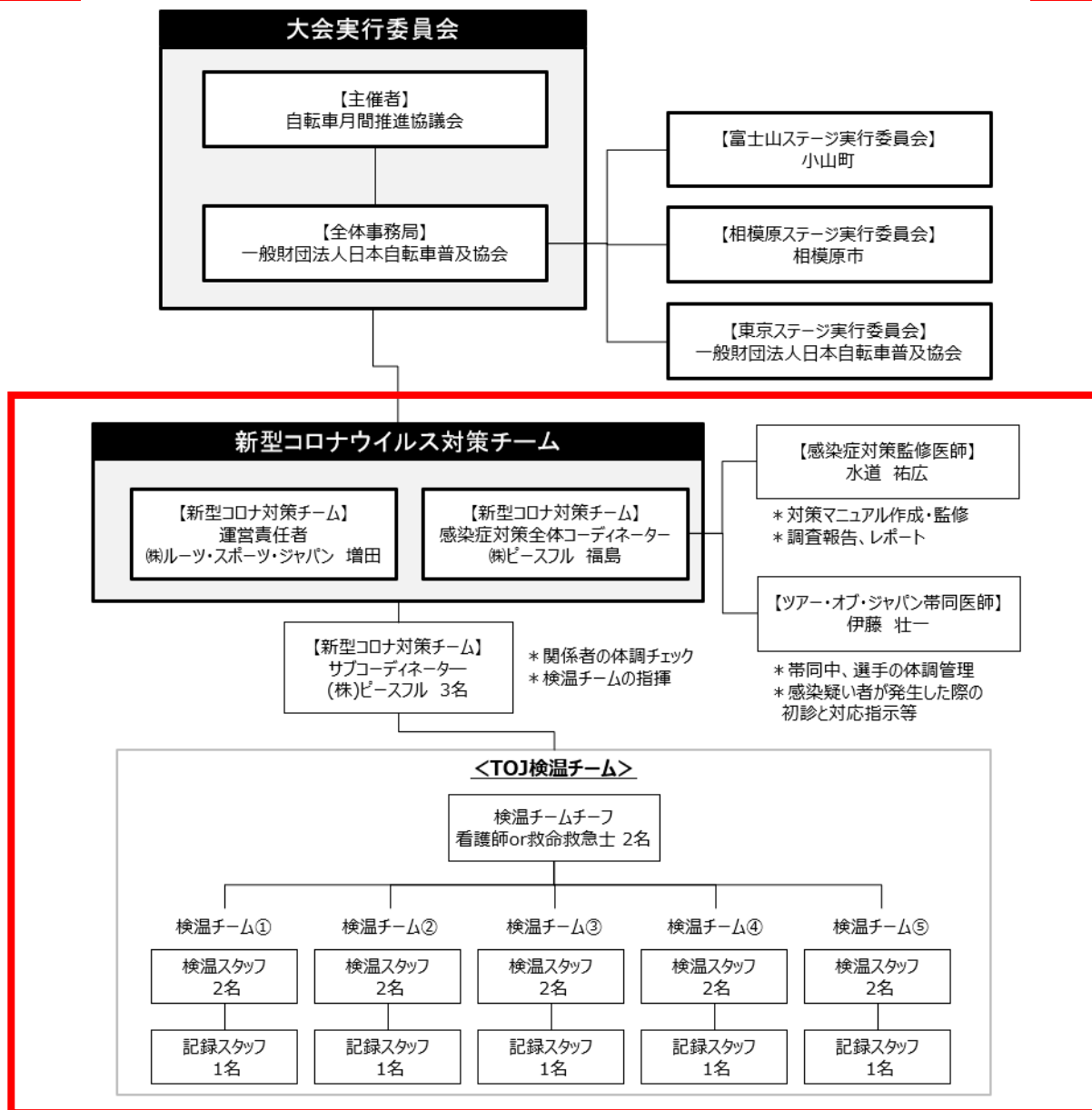
入力内容は事務局の担当者が日々入力状況を確認し、入力漏れなどがあれば各セクションのコロナ対策担当者またはチーム監督等に連絡をして入力を促した。

感染疑似症者発生時の対応

- ・ イベント期間中に体調不調者、発熱者等COVID-19感染疑似症者が発生した場合、帯同医師が初期対応を行う。
- ・ レース中の落車等によるケガの場合、または宿泊所で外科的な対応を求められた場合には、レース担当医師が対応する。
- ・ レース担当医師とコロナ対策帯同医師は連携し、少しでもCOVID-19感染が疑われる場合には感染対策医師が対応する。
- ・ イベント期間中に発熱等のCOVID-19感染疑似症者が発生した場合には、コロナ対策帯同医師により傷病者本人の任意で緊急の抗原検査を実施し、感染の可能性を評価する。
- ・ イベント期間中に帯同医師による抗原検査で陽性となった場合や、その他の流れで陽性が判明した場合には、現地待機の自治体救急車または感染対策チーム車両にて自宅または医療機関まで送迎する。
- ・ イベント期間中にCOVID-19陽性者が発生した場合、帯同医師を中心に主催者と協議し濃厚接触者の可能性がある者をリストアップし、ホテル待機などの判断をただちに行う。濃厚接触者の最終的な断定は管轄保健所が行う。

感染対策チームの設置

感染対策チームの設置



感染対策チーム内の配置実績

事前

【役割】

- ・大会全体の感染対策の計画および感染症対策マニュアルの作成・監修、会議への出席等。

【体制】

- ・感染対策チーム運営責任者 1名 (株)ルーツ・スポーツ・ジャパン 増田
- ・感染対策全体コーディネーター 1名 (株)ピースフル 福島
- ・感染対策監修医師 1名 医療社団法人総生会 麻生総合病院 伊藤医師

当日

【役割】

- ・医師の帯同によるチームバブル内の感染対策、感染疑似症者の対応
- ・イベント会場における感染疑似症者の対応
- ・関係者への検温
- ・会場内の感染対策業務（除菌作業等）、会場付近の観戦自粛のよびかけ
- ・陽性疑い発生時に、検温チーム車両が「陽性疑い者」の運搬車両として稼働

【体制】

- ・感染対策チーム運営責任者 1名 (株)ルーツ・スポーツ・ジャパン 増田
- ・感染対策全体コーディネーター 4名 (株)ピースフル 福島 他3名
- ・帯同医師 1名 医療社団法人総生会 麻生総合病院 伊藤医師

検温チームの配置

(富士山ステージ) 検温ブース数 スタート会場2カ所 フィニッシュ会場1カ所 計3カ所
 検温スタッフ数11名 (チーフ1名×2会場、スタッフ3名×3ブース)
 感染対策巡回員5名

(相模原ステージ) 検温ブース数 スタート会場2カ所 フィニッシュ会場2カ所 計4カ所
 検温スタッフ数14名 (チーフ1名×2会場、スタッフ3名×4ブース)
 感染対策巡回員3名

(東 京ステージ) 検温ブース数 スタート/フィニッシュ会場2カ所 (1カ所に2ブースを設置) 計2カ所
 検温スタッフ数8名 (チーフ2名、スタッフ3名×2ブース)
 感染対策巡回員8名

【TOJ帯同コロナ対策チーム医師】

伊藤 壮一（いとう そういち）

[専門科目]

救急医学、災害医療（日本DMAT隊員）、蘇生学、医学教育学

[資格]

- 日本救急医学会救急専門医・指導医
- JPTECコース世話人・インストラクター
- JATECプロバイダー
- ICLSコースダイレクター・インストラクター
- ISLSインストラクター
- 米国ABLSインストラクター
- 米国Team STEPPS train the trainer certification
- ケンブリッジ英検 first certification

[職歴]

- 東京女子医科大学第四内科入局
- 川崎市立川崎病院 総合診療科
- 川崎市立川崎病院 救命救急センター 副センター長
- 麻生総合病院 救急総合診療科 部長
- 医療社団法人総生会 麻生総合病院 救急総合診療科

【新型コロナウイルス感染症対策監修担当医師】

水道 祐広（すいどう よしひろ）

[専門科目]

呼吸器内科、感染症内科、救急一般

[資格]

- 日本呼吸器学会、日本感染症学会専門医
- 日本内科学会総合内科専門医・指導医
- 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医
- ICD制度協議会認定インフェクションコントロール
ドクター
- JMECCコースインストラクター
- ICLSインストラクターコースディレクター

[職歴]

- 川崎市立川崎病院 総合診療科・救急科
- 川崎市立井田病院 呼吸器内科
- 神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科
- 藤沢市民病院 呼吸器内科
- 大和私立病院 呼吸器内科 藤沢市民病院 救急科兼任
- 麻生総合病院 救急総合診療科 内科兼任

感染対策チームの設置

【TOJ コロナ対策担当者】

所属		担当者名
主催者 (TOJ事務局/東京ステージ)	(一財)日本自転車普及協会	村山 吾郎
競技主管	(公財)日本自転車競技連盟	狩野 萌
富士山ステージ実行委員会	小山町	祓川 悟
相模原ステージ実行委員会	相模原市	梶野 喜一
新型コロナ対策チーム 全体コーディネーター	(株)ピースフル	福島 圭介
新型コロナ対策チーム 運営責任者	(株)ルーツ・スポーツ・ジャパン	増田 英行

新型コロナウイルス対策マニュアルの作成

新型コロナウイルス対策マニュアルの作成

テクニカルガイドに付属した形で配布（全37ページ）



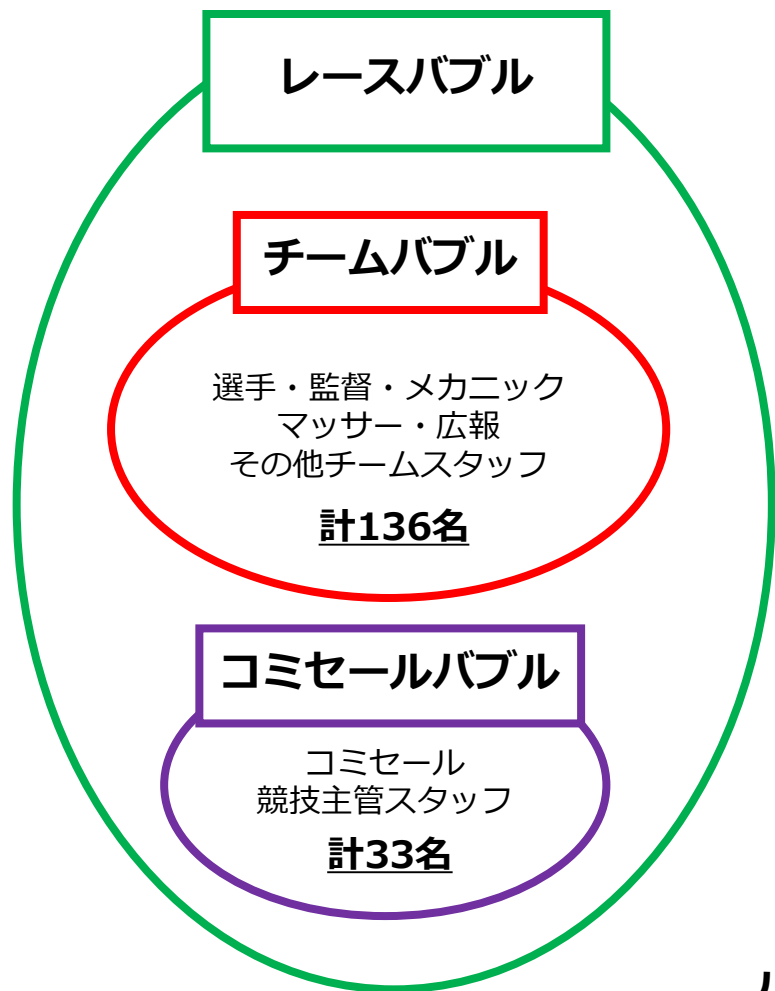
INDEX		TOJ
■はじめに		
本マニュアルの目的	3	
用語の定義	3	
■イベント主催者が行うべきこと		
1. グローバルリスク評価	5	
2. パンデミックの評価	6	
3. パンデミックの状況に応じた様々な対策	6	
4. イベントを開催させるために最適なこと	8	
5. 情報の交換	9	
■TOJ開催におけるCOVID-19 対策ガイドライン		
TOJ開催における対策事項	10	
開催期間中の注重点まとめ	15	
■TOJにおけるバブル方式		
TOJ開催におけるバブル	16	
■TOJ開催中止の判断基準		
TOJ開催中止の判断基準	17	
■行動履歴・健康観察報告		
行動履歴・健康観察報告フォームの提出	18	
■コロナ対策チーム		
組織体制図	21	
感染症専門家/医師	22	
■コロナ対策連絡先一覧		
TOJコロナ対策担当者	23	
各都県指定相談窓口・保健所	23	
■各開催地における医療機関一覧		
TOJ各開催地コロナ感染疑いの診察ができる医療機関	24	
■感染疑い発生時の緊急対応フロー(レース会場)		
感染疑い発生時の緊急対応フロー(レース会場)	25	
■感染疑い発生時の緊急対応フロー(レース会場外)		
感染疑い発生時の緊急対応フロー(レース会場外)	26	
■感染疑い発生時の緊急対応フロー(要請確定時)		
濃厚接触者とは	27	
ロードレースにおける濃厚接触者の可能性	27	
陽性者が出た際の対応	27	
■一般観客のTOJ観戦について		
TOJ観戦	28	
各開催会場	28	
■会場における検温所体制		
検温所の概要	29	
富士山ステージ スタート/フィニッシュ会場	30	
相模原ステージ スタート会場	31	
相模原ステージ フィニッシュ会場	32	
東京ステージ スタート/フィニッシュ会場	33	
■会場設置注意喚起看板		
全ステージ共通注意喚起看板	34	
■コロナ対策備品リスト		
TOJコロナ対策備品リスト	35	
■参考・出典		
参考・出典文献	37	

Tour of Japan

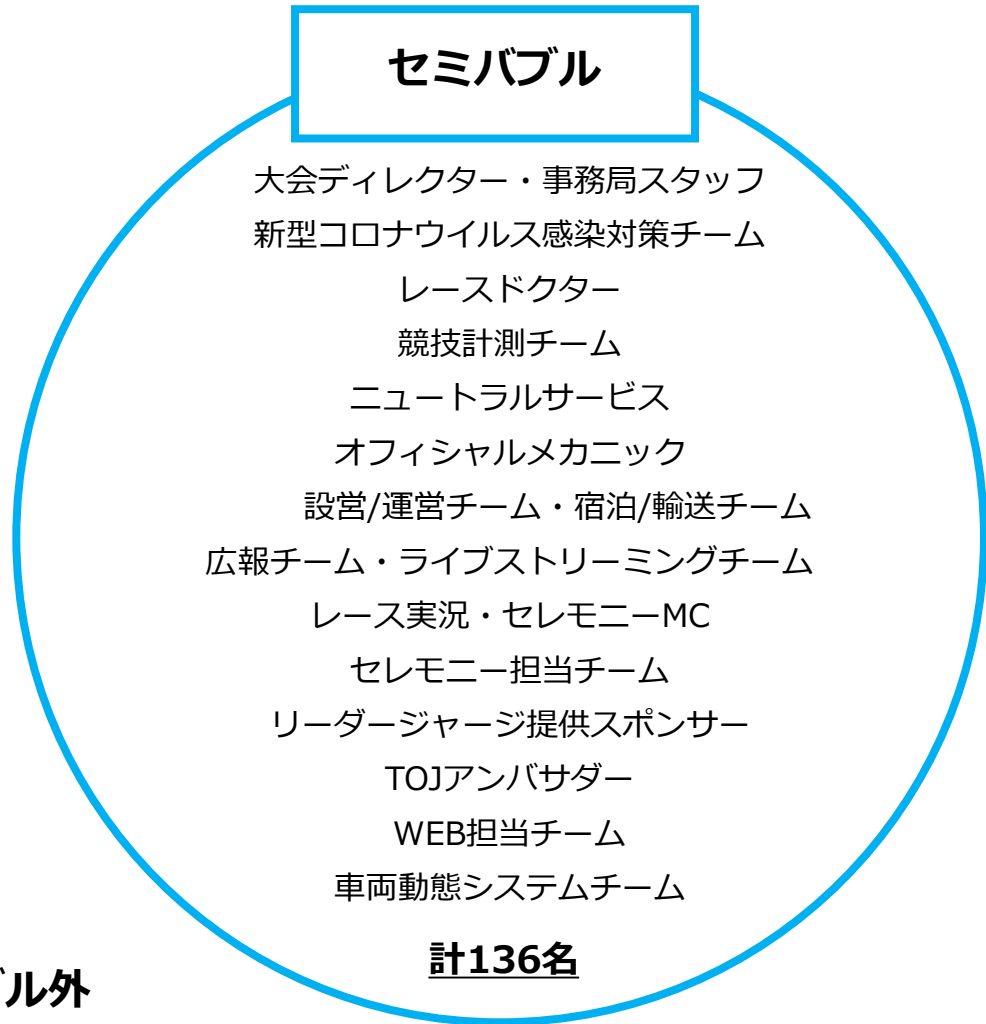
バブル方式

バブル方式

※5/27(木) ライセンスコントロール・監督会議 ～ 5/30(日) 東京ステージ終了時



バブル外



バブル方式

※5/27(木) ライセンスコントロール・監督会議 ～ 5/30(日) 東京ステージ終了時

●チームバブル

- ・ TOJに参加する全チームの選手、監督、メカニック、マッサー、スタッフ、広報を対象とする
- ・ 大会参加2週間前から大会終了後まで、朝夕2回の検温、健康チェック、行動履歴の記録、提出を義務とし、大会参加72時間以内にPCR検査で陰性が確認されていること
- ・ 大会期間中は、常時マスク着用(選手はレース中を除く)及びフィジカル・ディスタンスに留意した上、可能な限り外部との接触や、レース以外の不要不急な外出を自粛すること

●コミセールバブル

- ・ TOJで全レースの執務を行うコミセールを対象とする
- ・ 大会参加2週間前から大会終了後まで、朝夕2回の検温、健康チェック、行動履歴の記録、提出を義務とし、大会参加72時間以内にPCR検査で陰性が確認されていること
- ・ 大会期間中は、可能な限り外部との接触や、レース以外の不要不急な外出を自粛すること
- ・ 常時マスク着用及びフィジカル・ディスタンスに留意した上で、チームバブルと短時間の接触を可能とする

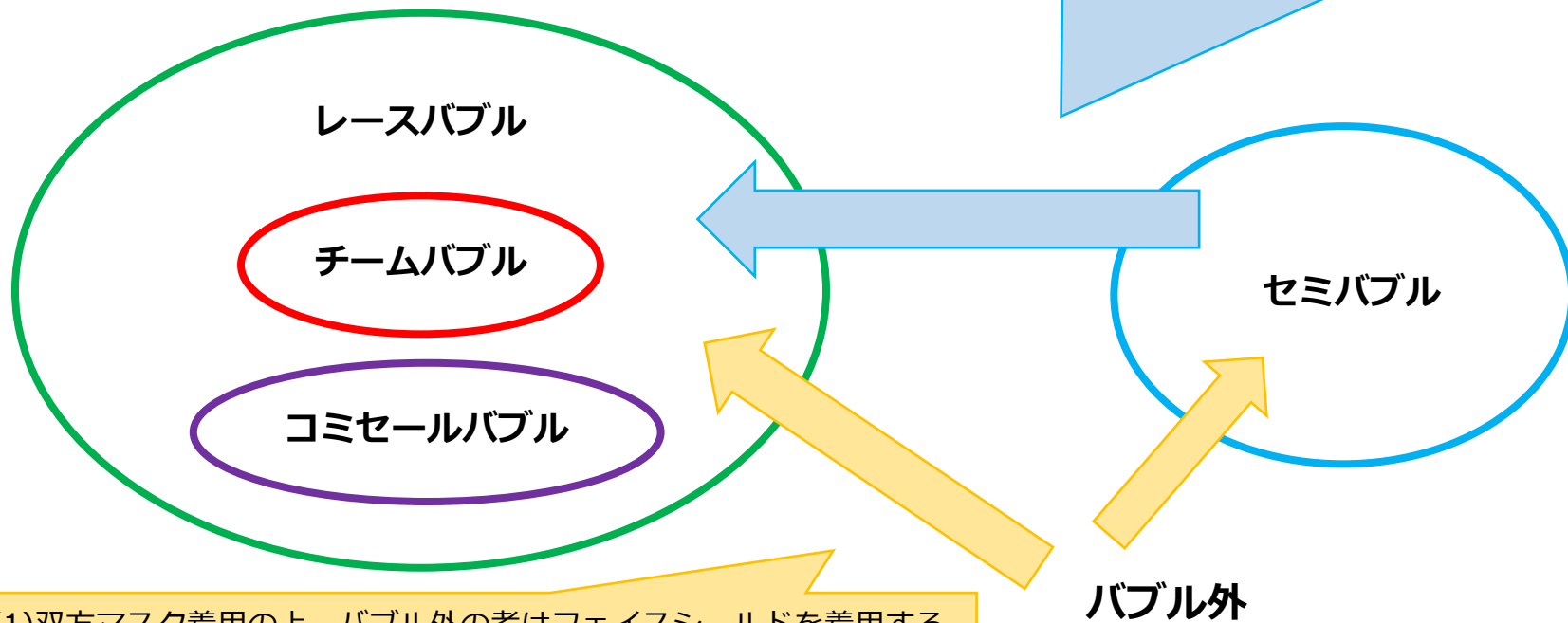
●セミバブル

- ・ TOJで全レースの執務を行う関係者を対象とする
- ・ 大会参加2週間前から大会終了後まで、朝夕2回の検温、健康チェック、行動履歴の記録、提出を義務とし、大会参加1週間前にPCRまたはLAMP検査で陰性が確認されていること
- ・ 大会期間中は、可能な限り外部との接触や、レース以外の不要不急な外出を自粛すること
- ・ 常時マスク着用及びフィジカル・ディスタンスに留意した上で、チームバブルと短時間の接触を可能とする

バブル方式

※5/27(木) ライセンスコントロール・監督会議 ～ 5/30(日) 東京ステージ終了時

- (1)大会参加 2週間前より行動履歴及び朝夕 2回の検温、健康状態の記録を Web で提出
- (2)大会参加（現地入り）1週間前に PCR 検査を実施、陰性確認
（検体送付型検査キット使用）
- (3)大会参加（現地入り）24時間以内に抗原検査を実施、陰性確認
（15～30分程度で検査結果が表示される検査キット使用）
- (4)大会期間中は毎日、宿泊施設出発前に検温・健康状態の記録を Web で提出
- (5)体調不良等の自覚症状がある場合、所定の手続きの上、大会会場に来場しない
- (6)大会期間中、マスク着用を必須とし、適宜うがい・手洗い、手指消毒を行う



- (1)双方マスク着用の上、バブル外の者はフェイスシールドを着用する
- (2)フィジカル・ディスタンス1.5～2mを保つ
- (3)短時間（概ね15分以内）の接触に留める

バブル方式

※5/27(木) ライセンスコントロール・監督会議 ～ 5/30(日) 東京ステージ終了時

バブル方式 詳細 (1/4)

Tour of Japanでは、スポーツ界で主に採用される、開催地や会場を大きな泡で包むように大会を運営し、選手や関係者の外部との接触を遮断する方法「バブル」方式を用いて感染対策を行った。選手やチーム関係者のバブルを「チームバブル」、競技審判(コミセール)のバブルを「コミセールバブル」とし、合わせて「レースバブル」とした。

1. チームバブル

TOJに参加する全チームの選手、監督、メカニック、マッサー、スタッフ、広報を対象とする。

大会参加2週間前から大会終了後まで、朝夕2回の検温、健康チェック、行動履歴の記録、提出を義務とし、大会参加72時間以内にPCR検査で陰性が確認されていること。

大会期間中は、常時マスク着用(選手はレース中を除く)及びフィジカル・ディスタンスに留意した上、可能な限り外部との接触や、レース以外の不要不急な外出を自粛すること

- (1)大会参加2週間前から大会終了まで、行動履歴及び朝夕2回の検温、健康状態の記録を所定のフォームにて提出
- (2)大会参加72時間以内にPCRまたはLAMP検査(抗原・抗体検査は不可とする)を受け、結果を主催者に申告
- (3)大会期間中、発熱・体調不良等の自覚症状がある場合、直ちにチーム監督を通じ、コロナ対策チームへ申し出、隔離状態を確保の上、保健所または医療機関へ連絡し、受診等の指示を仰ぎ、大会会場には来場しない
- (4)チームメンバーは、大会期間中、常時マスク着用を必須とし(レース中を除く)、適宜うがい・手洗い、手指消毒を行い、こまめに携帯電話等の所持品の消毒も併せて行う
- (5)大会期間中は、可能な限り外部者との接触を避け、レース以外の不要不急な外出を自粛する
- (6)レース前の出走サインは省略とし、ICタグのチェックで出走確認を行う
- (7)レース補給地点へは決まった補給員のみ配置し、補給の際はマスク、手袋を着用する
- (8)会場チームピット内は、基本的にチームメンバー以外の立ち入りは禁止
- (9)チームピットや準備エリアにいる人数に応じて、フィジカル・ディスタンスを確保する
- (10)レース中に唾や痰を吐くことは極力行わない
- (11)選手間のタオル、ボトルなどの共用はしない
- (12)補給に使用したボトル、ジェルなどは指定場所以外に捨てない
- (13)表彰式では、表彰対象選手は、授与されるジャージを自ら着用、副賞等を持参の上、ステージに登壇する
- (14)大会会場や公共の場において、ウイルスや飛沫が付着した可能性があるゴミ類(マスク、ティッシュペーパー、紙類、ペットボトル、スクイズボトル等飲食に使用した容器や包装、カトラリー等)の放置・廃棄禁止、密閉の上、持ち帰りを徹底する
- (15)メディア・スタッフ(フォトグラファー含む)がチーム広報として帯同する場合は、チームバブルに属し、一般メディア及び外部との接触は禁止とし、レース中、プレス車両乗車及びコース上のフォトグラファー・エリアへの立ち入りは不可とする
- (16)チーム広報で、複数チームの取材を予定している場合、事前に取材予定全チームから承諾を得ること
- (17)チームカーには、チームに帯同しているチーム広報のみ同乗可能とし、主催者へ「チームカー同乗申請書」の提出を必須とする

バブル方式 詳細 (2/4)

- (18)選手、チームスタッフがチームバブル外のメディアの取材を受ける際は、必ずマスクを着用し、取材者がマスク及びフェイスガードを着用していることを確認した上で、2m以上のフィジカル・ディスタンスを保つ
- (19)大会期間中、チームから新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した場合、原則として、そのチームは大会から除外とする（濃厚接触者の特定に一両日を要するため）

2. コミセールバブル

TOJで全レースの執務を行うコミセールを対象とする。

大会参加2週間前から大会終了後まで、朝夕2回の検温、健康チェック、行動履歴の記録、提出を義務とし、大会参加72時間以内にPCR検査で陰性が確認されていること。

大会期間中は、可能な限り外部との接触や、レース以外の不要不急な外出を自粛すること。

常時マスク着用及びフィジカル・ディスタンスに留意した上で、チームバブルと短時間の接触を可能とする。

- (1)大会参加2週間前から大会終了まで、行動履歴及び朝夕2回の検温、健康状態の記録を所定のフォームにて提出
- (2)大会参加72時間以内にPCRまたはLAMP検査（抗原・抗体検査は不可とする）を受け、結果を競技主幹である(公財)日本自転車競技連盟（以下「JCF」）に申告し、コロナ対策チーム、主催者において情報共有する
- (3)大会期間中、発熱・体調不良等の自覚症状がある場合、直ちにJCF担当者を通じ、コロナ対策チームへ連絡、隔離状態を確保の上、保健所または医療機関へ連絡し、受診等の指示を仰ぎ、大会会場には来場しない
- (4)コミセールは、大会期間中、常時マスク着用を必須とし、適宜うがい・手洗い、手指消毒を行い、こまめに携帯電話等の所持品の消毒も併せて行う
- (5)大会期間中は、可能な限り外部者との接触を避け、レース以外の不要不急な外出を自粛する
- (6)コミセールカーやオフィシャルカーは、適宜換気を行い、使用前後に車内やハンドル等の手が触れる場所の除菌、消毒を行う。
また、私物や飲食物を車内に放置しない
- (7)大会会場における施設、またはテント内では、間隔を空けて着席し、三密を避ける
- (8)大会会場や公共の場におけるウイルスや飛沫が付着した可能性があるゴミ類（マスク、ティッシュペーパー、紙類、ペットボトル等飲食に使用した容器や包装、カトラリー等）の放置・廃棄禁止、密閉の上、持ち帰りを徹底する

バブル方式 詳細 (3/4)

3. セミバブル

TOJで全レースの執務を行う関係者を対象とする。

大会参加2週間前から大会終了後まで、朝夕2回の検温、健康チェック、行動履歴の記録、提出を義務とし、大会参加1週間前にPCRまたはLAMP検査で陰性が確認されていること。

大会期間中は、可能な限り外部との接触や、レース以外の不要不急な外出を自粛すること。

常時マスク着用及びフィジカル・ディスタンスに留意した上で、チームバブルと短時間の接触を可能とする。

- (1)大会参加2週間前から大会終了まで、行動履歴及び朝夕2回の検温、健康状態の記録を所定のフォームにて提出
- (2)レースバブルとの接触がある方は、セミバブルに属するものとし、大会参加1週間前にPCRまたはLAMP検査を受け、陰性を確認した後、大会参加24時間以内に抗原検査（定性または定量）を受け、陰性を確認し、結果を主催者に申告
- (3)大会期間中は、可能な限り外部者との接触を避け、レース以外の不要不急な外出を自粛する
- (4)大会期間中、体調不良等の自覚症状がある場合、直ちに所属グループ代表者を通じ、コロナ対策チームへ申し出、隔離状態を確保の上、保健所または医療機関へ連絡し、受診等の指示を仰ぎ、大会会場には来場しない
- (5)大会関係者は、大会期間中、常時マスク着用を必須とし、適宜うがい・手洗い、手指消毒を行い、こまめに携帯電話等の所持品の消毒も併せて行う
- (6)オフィシャルカーや関係車両は、適宜換気を行い、使用前後に車内やハンドル等の手が触れる場所の除菌、消毒を行う。
また、私物や飲食物を車内に放置しない
- (7)大会会場における施設、またはテント内では、間隔を空けて着席し、三密を避ける
- (8)大会会場や公共の場におけるウイルスや飛沫が付着した可能性があるゴミ類（マスク、ティッシュペーパー、紙類、着用後のビブス、ペットボトル等飲食に使用した容器や包装、カトラリー等）の放置・廃棄禁止、密閉の上、持ち帰りを徹底する

■対象となる関係者は下記の通りとする。 ※セミバブル対象者は「セミバブルリスト」にて管理を行う

- ニュートラルサービス／オフィシャルメカニック
- レースドクター／新型コロナウイルス感染症対策チーム
- 大会ディレクター／事務局スタッフ
- レース実況・セレモニーMC
- 設営・運営チーム／宿泊・輸送チーム／広報チーム／ライブストリーミングチーム
- リーダーチャージ提供スポンサー／セレモニー担当チーム
- 競技計測チーム
- TOJアンバサダー
- WEB担当チーム
- 車両動態システムチーム

バブル方式

※5/27(木) ライセンスコントロール・監督会議 ～ 5/30(日) 東京ステージ終了時

バブル方式 詳細 (4/4)

*セミバブルがレースバブルと接触できる条件

- ・大会参加 2 週間前より行動履歴及び朝夕 2 回の検温、健康状態の記録を Web で提出
- ・大会参加（現地入り） 1 週間前に PCR 検査を実施、陰性確認（検体送付型検査キット使用）
- ・大会参加（現地入り） 24 時間以内に抗原検査を実施、陰性確認（15～30 分程度で検査結果が表示される検査キット使用）
- ・大会期間中は毎日、宿泊施設出発前に検温・健康状態の記録を Web で提出
- ・体調不良等の自覚症状がある場合、所定の手続きの上、大会会場に会場しない
- ・大会期間中、マスク着用を必須とし、適宜うがい・手洗い、手指消毒を行う

4. バブル外

1～3に含まれないすべての方を対象とし、上記バブルとの接触は不可とする。

やむを得ない事情がある場合は、三密（密閉・密集・密接）を避け、双方マスク着用の上、バブル外の方は更にフェイスガードを着用、フィジカル・ディスタンス 2m 以上を保ち、15分以内に留めること。

*バブル外の方がレースバブルと接触できる条件

- ・双方マスク着用の上、バブル外の方はフェイスシールドを着用する
- ・フィジカル・ディスタンス 1.5～2m を保つ
- ・短時間（概ね 15 分以内）の接触に留める

行動履歴・健康観察報告フォーム

●概要

大会2週間前から大会終了までの期間、所定のフォーム（Googleフォーム）を使用し、朝夕の体温、健康チェック、行動履歴を毎日提出

●実施期間

2021年5月13日～2021年5月30日

●対象者

チームバブル・コミセールバブル・セミバブル

→同じ内容のフォームを提出

→回収するときのために、フォームURLはバブル毎に作成

行動履歴・健康観察報告フォーム

【2021ツアー・オブ・ジャパン】行動履歴・健康観察報告フォーム（チームバブル） [2021 Tour of Japan] Health Observation Report Form

こちらは【2021ツアー・オブ・ジャパン】健康観察・行動履歴報告の申請フォームです。

下記の期間は必ず毎日、連絡のないよう入力をお願いします。

<入力日>
5月13日（木）～5月30日（日）まで
※該当日に毎日、本フォームをご入力ください。

【事前】5月13日（木）～5月26日（水）まで
入力日の当日20：00までに本フォームをご入力ください。

【大会期間中】5月27日（木）～5月30日（日）まで
入力日の当日朝7：00までに、本フォームに朝の体温と健康チェックを入力してください。
入力日当日夕方、夜の体温と行動履歴を入力してください。

<入力方法について>
初日（5月13日）は基本情報と健康チェック（5月13日分のみ）を入力し、フォームを送信してください。
自動送信でご登録いただいたメールアドレスに申請内容が送られますのでご確認ください。

5月14日以降は、送られてきたメール画面上部にある「回答を編集」より、該当の日程の健康チェックを毎朝朝に入力し、フォームを送信してください。

<情報の取り扱いについて>
記載いただいた個人情報は、本大会の健康観察管理以外には使用しません。
ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもございません。
取得した個人情報は管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施いたします。

*は必須項目です。

【お問合せ】
2021 Tour of Japan 事務局
担当：Eメール：tpj.team@gmail.com

This is an application form for the [2021 Tour of Japan] Health Observation Report.

Please be sure to enter your information every day during the following period.

<Date>
May 13 (Thursday) - May 30 (Sunday)
Please fill out this form every day during the period.

<How to input>
Please enter your basic information and health check on May 13, and submit the form.
So please check it out.
You will be automatically received an e-mail filling out your information of this form.

After May 14, please go to "Edit Answer" at the top of the email screen that was sent to you and enter your health check for the appropriate dates each morning and submit the form.

<Privacy Policy>
The personal information you provide will not be used for any purpose other than the health observation and management of this event.
We will not provide personal information to a third party without your consent.
We will appoint a person in charge of managing the personal information we collect and take proactive safety measures to prevent loss or leakage.

* is a requirement

【Inquiry】
2021 Tour of Japan Organizing Committee
Contact Person : Megumi NAKAI
Eメール：tpj.team@gmail.com

メールアドレスを必ずご入力ください。
Please make sure to enter your email address
*必須

メールアドレス*

メールアドレス

◆基本情報 Basic Information

氏名 Full Name *

回答を入力

所属/チーム名 Team Name *

回答を入力

連絡先（大会期間中つながる電話番号） Contact Address (Phone number to call during the race) *

回答を入力

住所 Address *

※郵便番号は不要です。必ず姓までご入力ください。 The postal code is not required. Please make sure to enter the branch number as well.

回答を入力

次へ

1/3 ページ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・お問い合わせ
ポリシー

Google フォーム

【2021ツアー・オブ・ジャパン】行動履歴・健康観察報告フォーム（チームバブル） [2021 Tour of Japan] Health Observation Report Form

◆健康チェック（事前） Pre-Health Check

下記項目は必ず毎日入力をお願いします。

<入力日>
5月13日（木）～5月26日（水）まで
※入力日の毎日20：00までに本フォームをご入力ください。

○体温
当日朝の体温を「36.1」のように数字のみ記入してください。

○健康チェック
体調不良や濃厚接触などの有無を選択して記入してください。

○行動履歴
食事の時間や場所、練習などの外出、仕事での打合せ等可能な範囲でご記入ください

例） 10：00～11：00 経路A 打合せ（4名）、13：00～17：00 エリアでチーム練習（6名）、19：00～20：00 近所をランニング

※万が一、感染が判明した場合に感染経路を遡るために必要となる外出情報の聞き取りとなります。

※感染先の会社名や個人情報が特定できる情報までご記入いただく必要はありません。

※感染先の場所（地名）、宴会の種類（打合せ・会食など）、参加人数まで可能な限りご記入をお願いいたします。

=====

Please be sure to enter the following information every day.

<Date>
May 13 (Thursday) - May 26 (Wednesday)
Please fill out this form on the evening (by 20:00 pm) of the event

○Body Temperature
Enter only numbers for today's body temperature, such as 36.1.

○Health Check
Select and fill out whether you have any physical illness or close contact.

○History of One's Activities
Please fill out times and place you went and what you did.
(Example) 10:00-11:00 Meeting in Meguro(4 people), 13:00-17:00 Team Practice(6 people), 19:00-20:00 Running around the neighborhood

※In the event that an infection is found, this will be an interview for information on going out of the house, which is necessary to trace the route of infection.

※You do not need to fill out the name of the company you visit or any other specific information.

※Please fill out as much information as possible, including the location you visit (place name), the type of meeting (meeting, dinner, etc.), and the number of participants.

=====5月13日（木） Thursday, May 13=====

体温（朝） Body Temperature (Morning)

回答を入力

体温（夕方） Body Temperature (Evening)

回答を入力

チェック項目 Check Items	はい YES	いいえ NO
平熱を超える発熱（概ね37度5分以上） Fever above normal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳、喉の痛み、鼻水、鼻づまりなど風邪の症状 symptoms of a cold (Cough, Runny Nose, Stuffy Nose, Sore throat, etc.)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
だるさ（倦怠感）、息苦しさ・息切れ（呼吸困難） washed-out feeling, breathlessness	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
臭覚、味覚の異常 Abnormal sense of smell and taste	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
身体が重く感じる、疲れやすい等 easily fatigued	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
顔面や体の痛み（頭痛、喉痛等） headache, Sore Throat	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
悪心、嘔吐 nausea, vomiting	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
下痢 diarrhea	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
結膜炎 conjunctivitis	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
眠気または不眠 drowsiness, insomnia	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症罹患性とされた者との濃厚接触 Close contact with a person who has been infected by COVID-19	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同居家族や身近な人に感染が疑われる方が居る You have a family member who might be infected by COVID-19.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当者との濃厚接触 Travel to a country or region that has been restricted by the government from entering the country or region within the past 14 days, or has been in close contact with a relevant person.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
行動履歴 History of One's Activities		
回答を入力		

行動履歴・健康観察報告フォーム

◆健康チェック (大会中) Health Check (during a race)

いよいよ本日より大会本番となります。
大会期間中も下記項目は必ず毎日入力をお願いします。

<入力日>

5月27日(木)～5月30日(日)まで
※入力日の当日朝7:00までに、本フォームに朝の体温と健康チェックを入力してください。
※入力日当日夕方、夜の体温と行動履歴を入力してください。

◎体温

体温を「36.1」のように数字のみ記入してください。

◎健康チェック

体調不良や濃厚接触などの有無を選択して記入してください。

◎行動履歴

*レース以外の外出があった場合にご入力ください。
会食の時節や場所、練習などの外出、仕事での打合せ等を可能な範囲でご記入ください。
(例) 10:00～11:00 日黒仕事打合せ(4名)、13:00～17:00 ○○エリアでチーム練習(6名)、19:00～20:00 近所をランニング
※方が一、感染が判明した場合に感染経路を追うために必要となる外出情報の聞き取りとなります。
※訪問先の会社名や個人情報が特定できる情報までをご記入いただく必要はありません。
※訪問先の場所(地名)、面会の種類(打合せ・会食など)、参加人数まで可能な限りご記入をお願いいたします。

=====

The race starts today.

Please be sure to enter the following information every day during the race.

<Date>

May 27 (Thursday) - May 30 (Sunday)

*Please fill out this form in the morning (by 7:00 am) of the event (the morning temperature and health check)

*Please fill out this form in the evening of the event (the evening temperature and activities)

◎Body Temperature

Enter only numbers for today's body temperature, such as 36.1

◎Health Check

Select and fill out whether you have any physical illness or close contact.

◎History of One's Activities

*Please fill out if you go out except the race.

Please fill out times and place you went and what you did.

(Example) 10:00～11:00 Meeting in Meguro(4 people), 13:00～17:00 Team Practice(6 people), 19:00～20:00 Running around the neighborhood

※In the event that an infection is found, this will be an interview for information on going out of the house, which is necessary to trace the route of infection.

※You do not need fill out the name of the company you visit or any other specific information.

※Please fill out as much information as possible, including the location you visit (place name), the type of meeting (meeting, dinner, etc.), and the number of participants.

=====5月27日(木) Thursday, May 27=====

体温(朝) Body Temperature (Morning)

回答を入力

手チェック項目 Check Items

	はい YES	いいえ NO
平熱を超える発熱(概ね37度5分以上) Fever above normal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳、喉の痛み、鼻水、鼻づまりなど風邪の症状 symptoms of a cold (Cough, Runny Nose, Stuffy Nose, Sore throat, etc.)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
だるさ(倦怠感)、息苦しき・息切れ(呼吸困難) washed-out feeling, breathlessness	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
嗅覚、味覚の異常 Abnormal sense of smell and taste	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
身体が重く感じる、疲れやすい等 easily fatigued	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
筋肉または体の痛み(頭痛、咽喉痛) headache, Sore Throat	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
悪心、嘔吐 nausea, vomiting	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
下痢 diarrhea	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
結膜炎 conjunctivitis	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
眠気または不眠 drowsiness, insomnia	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触 Close contact with a person who has been infected by COVID-19	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同居家族や身近な人に感染が疑われる方が居る You have a family member who might be infected by COVID-19.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への滞在又は該当者との濃厚接触。 Travel to a country or region that has been restricted by the government from entering the country or region within the past 14 days, or has been in close contact with a relevant person.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

体温(夕方) Body Temperature (Evening)

回答を入力

行動履歴 History of One's Activities

回答を入力

会場における検温所体制

会場における検温所体制

Tour of Japanでは、コロナ対策として来場者のメイン会場内への入場は不可としたため、本来予定していた来場者が会場内に入場する際の検温は取りやめとなり、イベント関係者のみを対象とした検温ブースの運営を行った。

補足事項

- ・ 基本的には、関係者の動線上に検温ブースを設置し、検温済みの者でも通過する度に検温する体制としたため、集計人数は延べ人数である。
- ・ 本イベントでは原則不織布のサージカルマスクを着用することを基本としたため、入場時に布マスク、ウレタンマスクを着用している方にはサージカルマスクへの付け替えをお願いした

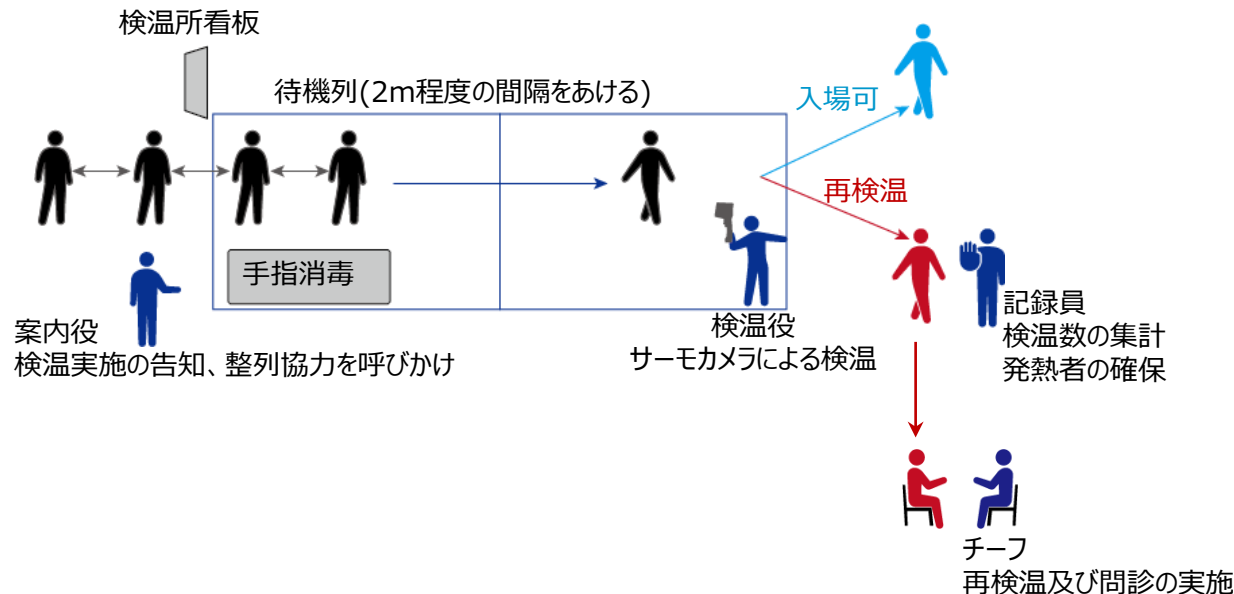
●検温フロー

検温および再検温では以下のフローに従って入場の可否を判断する。

<入場可能> 検温所 37.4℃ 以下
検温所 37.5℃ 以上 再検温 37.4℃ 以下 問診結果 問題なし

<入場不可> 検温所 37.5℃ 以上 再検温 37.4℃ 以下 問診結果 問題あり
検温所 37.5℃ 以上 再検温 37.5℃ 以上

●検温所レイアウト



●使用機材

ハンディタイプのものを使用、被検温者が立ち止まらずに検温が可能。



機種名：FLIR E4-XT

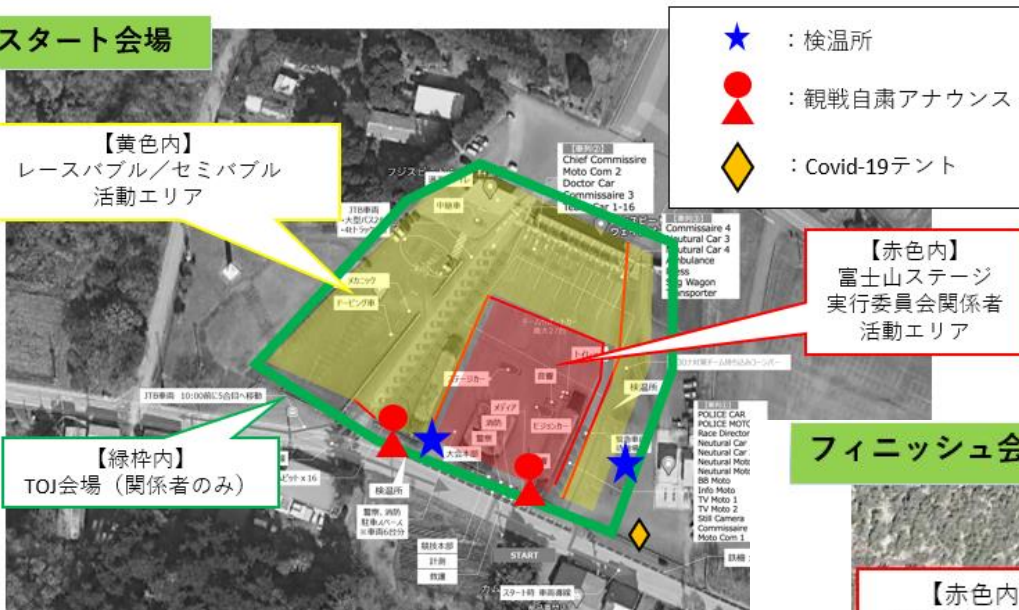
会場における検温所体制

●富士山ステージ

スタート会場

【黄色内】
レースバブル/セミバブル
活動エリア

【緑枠内】
TOJ会場（関係者のみ）



- ★ : 検温所
- : 観戦自粛アナウンス
- ◇ : Covid-19テント

【赤色内】
富士山ステージ
実行委員会関係者
活動エリア

フィニッシュ会場

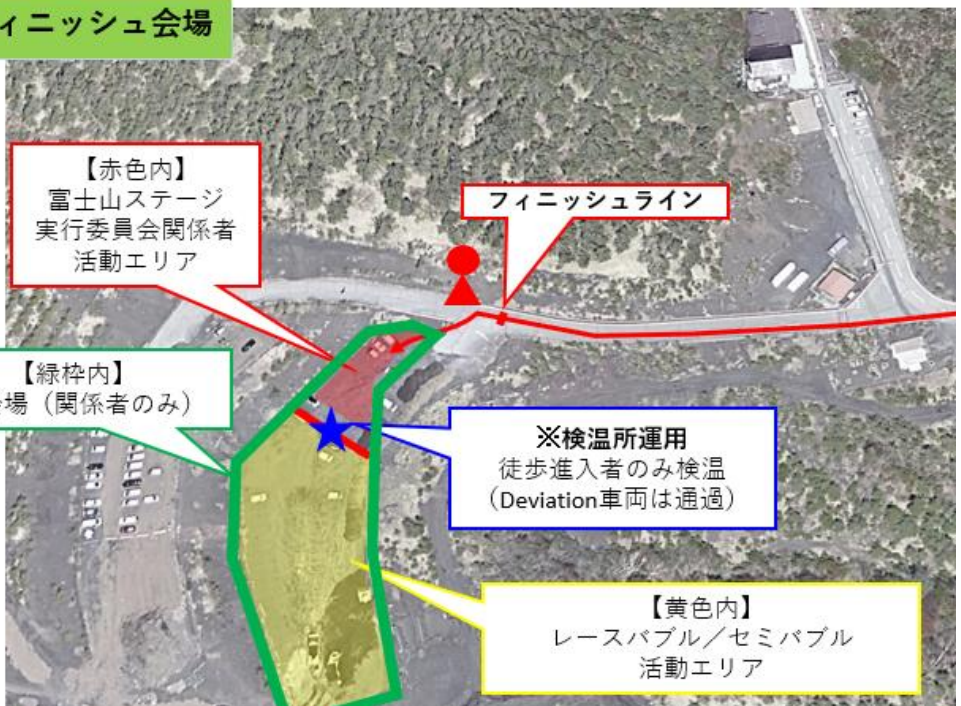
【赤色内】
富士山ステージ
実行委員会関係者
活動エリア

【緑枠内】
TOJ会場（関係者のみ）

フィニッシュライン

※検温所運用
徒歩進入者のみ検温
(Deviation車両は通過)

【黄色内】
レースバブル/セミバブル
活動エリア



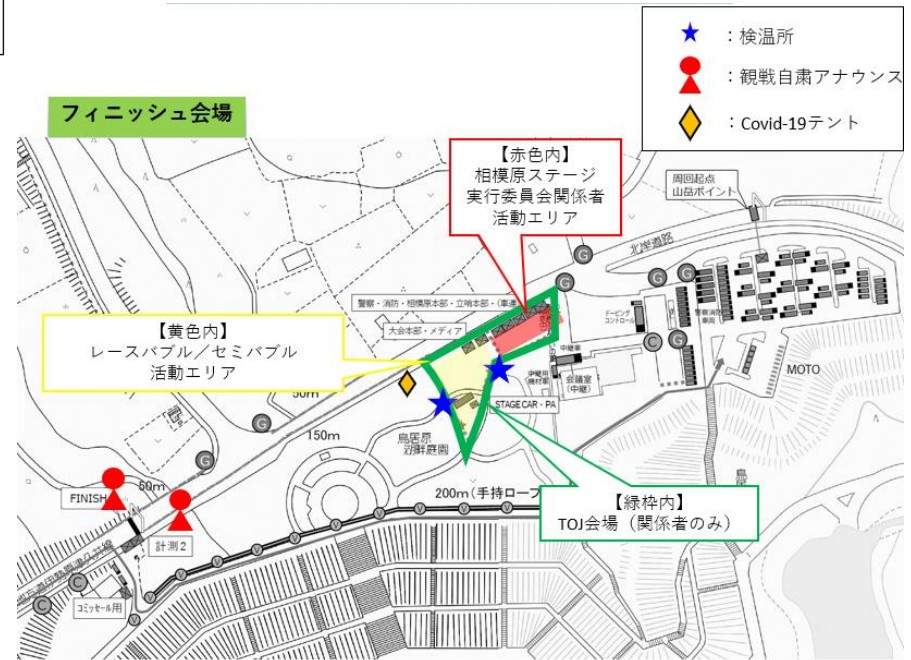
会場における検温所体制

●相模原ステージ

スタート会場

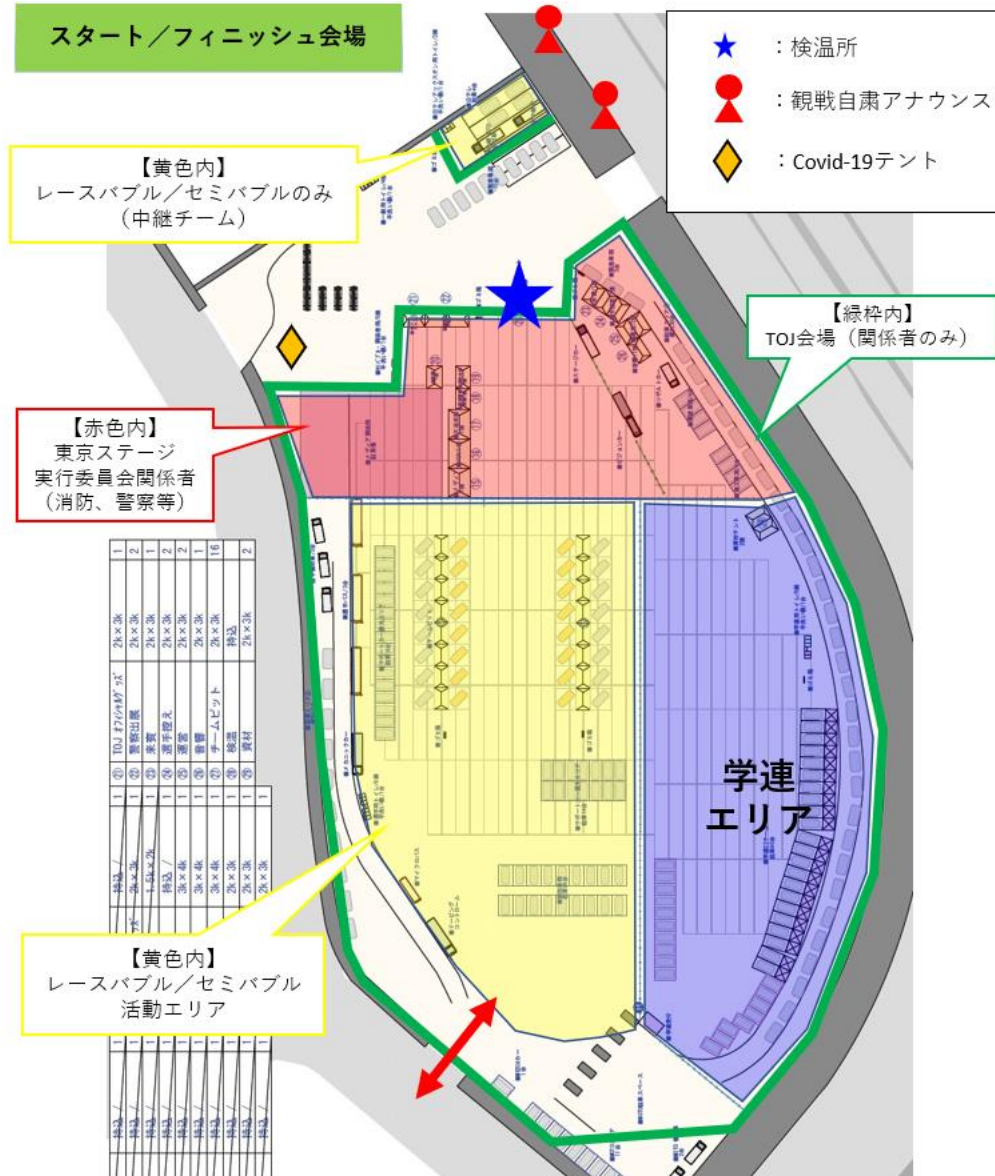


フィニッシュ会場



会場における検温所体制

●東京ステージ



結果報告

事前PCR検査、抗原検査体制と結果

Tour of Japanでは、各バブルにおいて下記の通り大会前の検査を行い、陰性が確認できた者のみが参加（業務に従事）できるものとした。

●チームバブル

大会参加前72時間以内にPCR検査を実施

●コミセールバブル

大会参加前72時間以内にPCR検査を実施

●セミバブル

大会参加1週間前にPCR検査またはLAMP検査を実施

大会参加前24時間以内に抗原(定性)検査を実施

●方法

セミバブルについては、検査キットをセクションごとまたは本人自宅に郵送で送り、PCR検査は検査機関に検体を郵送し検査を実施、抗原検査は自身で簡易キットにより検査を行った。

チームバブル、コミセールバブルについては、各チームまたは各自の責任でPCR検査を実施し、陰性結果を主催者へ報告した。

●結果

	PCR検査実施数	うち陽性
チームバブル	136件	1件 (陽性率0.7%)
コミセールバブル	33件	0件 (陽性率0%)
セミバブル	128件	1件 (陽性率0.8%)

※セミバブル 大会前抗原検査 実施数136件 うち陽性0件（陽性率0%）

●陽性者に対する対応

①チームバブル内で大会前に判明した事例

当該者：選手

状況：大会参加24時間以内にPCR検査を実施し、関西方面から富士山ステージ会場へ向かう車両での道中に陽性が判明。ただちに大会本部に連絡があり、新型コロナ対策帯同医師の助言も経て本人不参加と判断し通達した。当該チームの判断によりチーム全体の参加も見合わせる事となった。

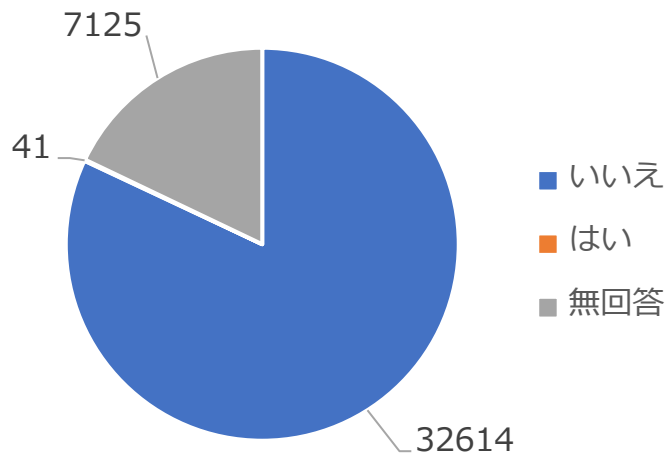
②セミバブル内で大会前に判明した事例

当該者：スタッフ

状況：大会1週間前にPCR検査を実施し、5/21に陽性が判明。同セクション内に検査実施2日以内に業務を一緒にしていた者（濃厚接触疑い者）が1名いたため、本人及び濃厚接触疑い者については新型コロナ対策帯同医師の助言も経て大会への不参加を促し、セクション長の判断により参加を取りやめた。

● フォーム回答結果

▼ チームバブル(170名)



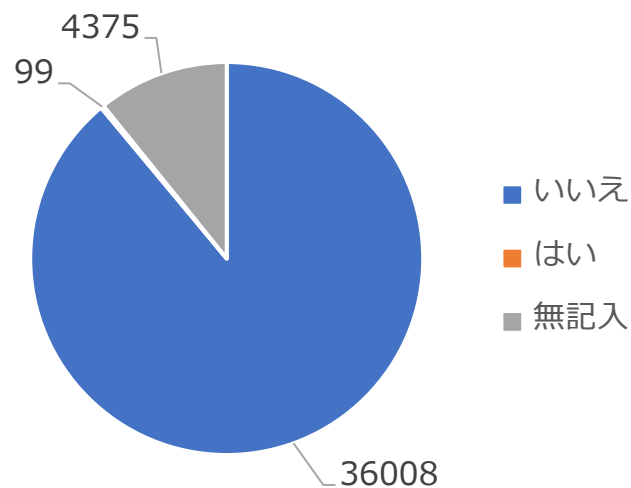
回答数：32,655件

回答率：82.089%

“いいえ”回答数：32,614件

“はい”回答数：41件

▼ コミセールバブル・セミバブル(173名)



回答数：36,107件

回答率：89.192%

“いいえ”回答数：36,008件

“はい”回答数：99件

※陽性判明後参加不可となったチームは途中で健康チェックを中止していたため、集計から外しました

各会場における検温所 集計結果

5/28富士山ステージ	メイン会場		ゴール会場	
	ENEOS前検温	富士山側検温	ゴール前検温	1日合計
検温通過人数	241	38	51	330
マスク未着用者数	30	1	0	31
再検温人数	1	0	0	1
再検温→入場不可	0	0	0	0
再検温→入場可	1	0	0	1
特記事項				

5/29相模原ステージ	スタート会場設置		メイン会場		1日合計
	第1検温	第2検温	第1検温	第2検温	
検温通過人数	30	5	376	45	456
マスク未着用者数	2	0	25	6	33
再検温人数	0	0	0	0	0
再検温→入場不可	0	0	0	0	0
再検温→入場可	0	0	0	0	0
特記事項					

5/30東京ステージ	メイン会場設置		
	第1検温	第2検温	1日合計
検温通過人数	350	240	590
マスク未着用者数	61	54	115
再検温人数	0	0	0
再検温→入場不可	0	0	0
再検温→入場可	0	0	0
特記事項			

5/28~5/30	合計
検温通過人数	1376
マスク未着用者数	179
再検温人数	1
再検温→入場不可	0
再検温→入場可	1

再検温とCOVIDテントでの医師による問診の様子



大会中の個別対応



レバンテ富士静岡の選手

5/28(金)

レースバブル宿泊ホテル内にて、
レース後より咳がでて、夜になり悪化し眠れない

5/29(土) AM1:00頃

監督から連絡



新型コロナ対策チーム
全体コーディネーター
福島

電話にて状況を聞く
ホテル帯同の伊藤医師に往診を依頼



伊藤医師

(結果)
発熱無し、緊急性はないものの咳症状があったため、念のため医師により抗原検査を実施し、
陰性を確認。本人の希望で抗生物質と抗アレルギー薬を渡し対応終了した。

(転帰)
明朝、症状軽減もレース復帰ができるほどには回復しないためレース辞退し帰宅した。



新型コロナ対策チーム
全体コーディネーター
福島

5/29(土) AM2:09

一連の流れを関係者にメールで連絡

考察まとめ (1/2)

1. 検査体制

- ・事前のPCR検査により陽性者が計2名発生したが、大会前の水際対策として機能し、大会での感染蔓延を防止できた。
- ・セミバブルの大会前24時間の抗原検査は、各自での実施で信憑性に限界があることから、1週間前のPCR検査と大会前72時間以内の再度のPCR検査実施であるとより精度が高まるので検討すべきである。
- ・今回、大会期間が3日間であったため事前の検査のみでよかったが、4日以上 of 行程の場合は期間中1~2回、検査種別はPCR検査または抗原(定量)検査の実施が望ましいと考える。

2. 行動履歴と健康観察入力

- ・回答率が90%以下であった。開催期間中を含めて回答率100%を目指すとしたら事務局体制の強化が必要であり、各団体への催促連絡頻度を上げる事が不可欠である。ただし、回答率100%を関係者全員に求めるのは相当な負荷が各所にかかるため、当フォームでの提出をどう捉えるか再考が必要である。
- ・「身体が疲れやすい、重く感じる」は、病的な意味合いではなく日々の就労に対する疲れなどについて回答してしまっている傾向があった。また、「眠気、不眠」についても日常的なものを回答している人がいた。設問内容を再検討する必要がある。
- ・行動履歴の記入については、詳細な行動履歴を記入する人と、行動状況が把握できない程度の内容のみの記入の人と個人差があった。より具体的な説明が必要と思われる。
- ・健康チェック期間の対応フローについて、事前に詰めておく必要がある。事前2週間で発熱、関連症状があった場合に、こういったプロセスで参加を可とするか、またそれを相談できる体制の構築が必要である。

3. 各会場の検温所及び体制

- ・検温機器について
使用した機器については、被検温者が立ち止まらずに測定ができる点で今回の業務に適していたと思われる。今回は被検査者が少なかったが、多い場合にも1ブースにつき最大600~700人/hの検温が可能であり、観客を入れての実施の際にも対応可能である。
- ・テント設置数
屋外にて検温業務を行うにあたり、日陰げでの検温が必須となり、時間帯で光の角度により若干測定に影響することがあった(その際には非接触型の他の代替機器で対応した)。テントサイズを広げるまたは増設の必要がある。
- ・マスク付替えのお願いについて
イベントの運営方針として不織布のサージカルマスクを着用することを理解されていない方が多く、頻繁にお声がけする状況であった。細かいことだが、規則は明確にし周知を徹底しないと守っている人からの不満の声などにもつながるため注意が必要である。
- ・オペレーションの検討(検温済み者の見分けについて)
スムーズなオペレーションと不快感をなくすためにも、検温は1人1回行い、済んだ方はリストバンドなど一目でわかるものを装着してもらい検温無しでの再入場が可能にする運用も検討しても良い。

4. 陽性者発生時の対応

・陽性者発生時の「濃厚接触者疑い」の抽出

濃厚接触者の断定は、最終的に管轄の保健所により行われるが、それには若干のタイムラグが発生する（1～2日程度発生することもある）。短期間のイベントにおいては、早期に主催者にて「濃厚接触者疑い」の者を抽出しただちに隔離、帰宅させる等の対応について判断しなければならない。それには、事前にイベントに応じた濃厚接触者の想定について考え方を協議しておく必要がある。

ただ、この判断にはレース等イベントへの参加を断念させるなど、その後の当該者の行動を制限することにもなるため、そのような事態が発生することを周知し事前の承諾などを交わすことが望ましい。

・陽性者発生時の主催者による公表について

イベントの参加者、関係者に陽性者が発生した場合、イベントへの参加者に対しHP等での公表が必要かどうかの判断が求められる。公表については時と場合により判断が難しいが、原則としては事実関係を速やかに公表することで、イベント参加者等の当事者への注意促しで早めの検査実施などにつながり、その後の関連クラスター発生リスクを低減できる可能性がある。公表の仕方などは事前に主催者間で協議しておくことが望ましい。

5. 地域医療機関・感染症関連機関との連携

・複数地域で数日間に渡り開催されるスポーツイベントにおいて

各地域、陽性疑いが発生した際の「感染症相談センター」や「保健所」は事前にリストアップしておくことが最低限必要であるが、受入医療機関は実際に陽性疑いが発生した時、第一次相談機関にコンタクトをとってからでないと確定しない。そのため、ツアー形式のイベントでは緊急でない限り、事前にリストアップした「感染症相談センター」「保健所」に連絡する事が現実的である。

手配物と当日の様子

手配備品一覧

【関係者配布物】

備品	手配数	配布数	備考
ハンディタイプ非接触型検温機	16	16	-各チーム1個（16チーム）
消毒液噴霧器（ボトル）	55	45	-出場チーム16本(500ml) -設営運営チーム10本(500ml) -宿泊輸送チーム10本(500ml) -広報チーム3本(500ml) -主催者6本(500ml) -予備10本（1,000ml）
消毒液噴霧器（トリガータイプ）	10	10	- 全体予備10本 （会場内消毒に使用）
飛沫防止パネル	12	12	- ライセンスコントロール3枚 - ツアーデスク2枚 - 実況席3枚 - 予備4枚
フェイスシールド	1,350	1,114	「設営・運営」「宿泊輸送」 「広報業務」「出場チーム」 「主催者」へ日数分配布
マスク	1,200	1,097	
個包装マスク	800	800	
ゴム手袋 ※衛生面を考慮し全廃棄	1,200	1,200	
防護服	10	10	各事業でご用意します

【帯同医師診察・検査キット】 * 伊藤医師が所持

備品	数量	備考
救急セット	1式	体調不良者対応用
緊急抗原検査キット	1式	現地での検査用 *会場内、宿泊先を想定

手配備品一覧

【検温所・コロナ対策チーム所持】

備品	手配数	配布数	備考
非接触型サーモグラフィ (FLIR E4-XT)	6	6	
ハンディタイプ非接触型検温機	10	10	
会場内検温所及び注意喚起看板	13	13	下図参照
防護服	10	10	
除菌シート (100枚入り)	100	80	
会場内検温所テント	6	6	テーブル込
携帯消毒液	22	22	会場内衛生管理用
TOJ感染症対策スタッフビブス	100枚	63	



機種名: FLIR E4-XT

■ツアーオブジャパンコロナ対策看板

A 型看板 (片面) W900×H1500+脚 300
S=1/10

A: 検温所前設置①×5枚
900

B: 検温所前設置②×5枚 C: 会場内設置×3枚



感染症対策スタッフは上記のビブスを着用

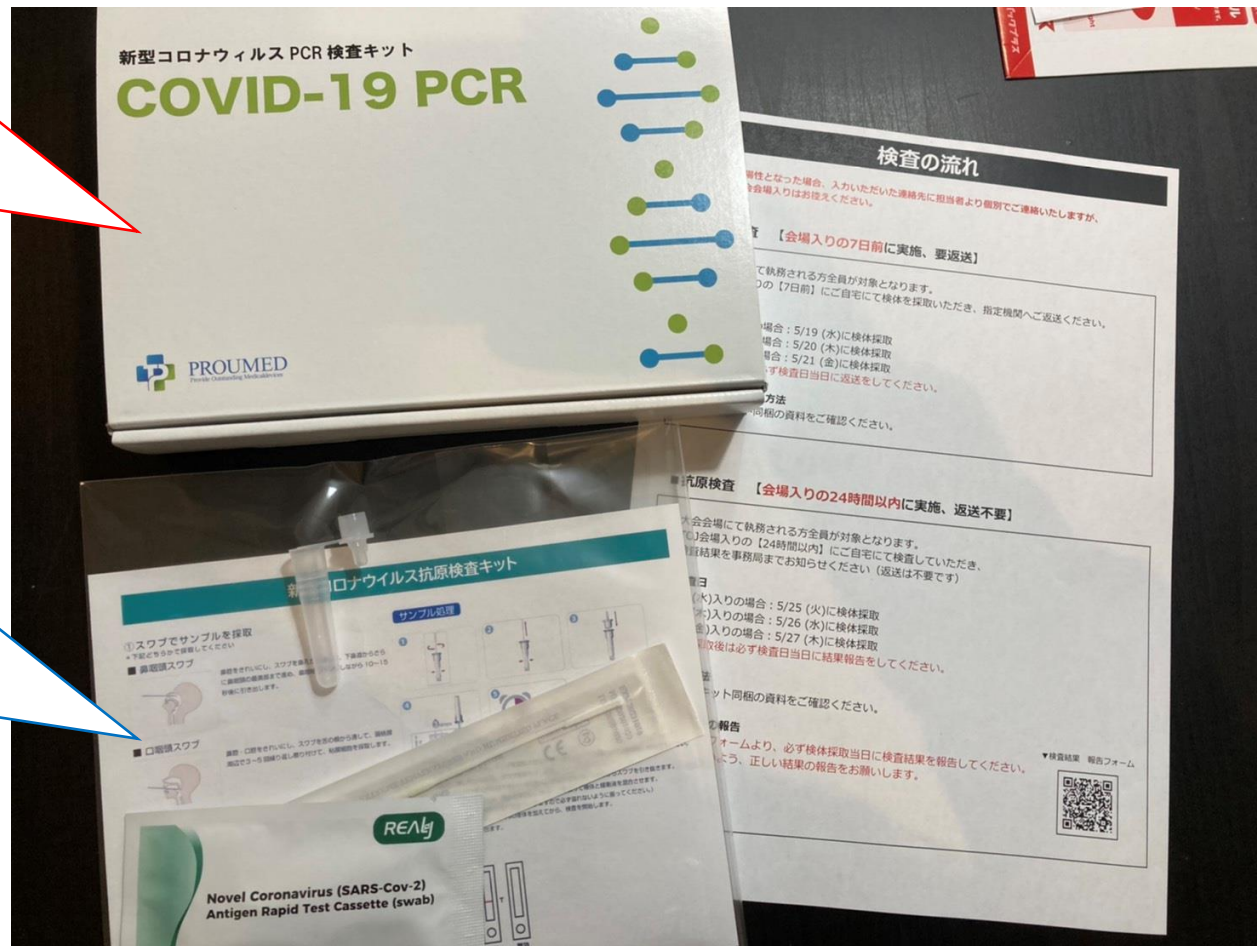
検査キット(セミバブル)

■ PCR検査

会場入りの7日前に実施

■ 抗原検査

会場入りの24時間以内に実施

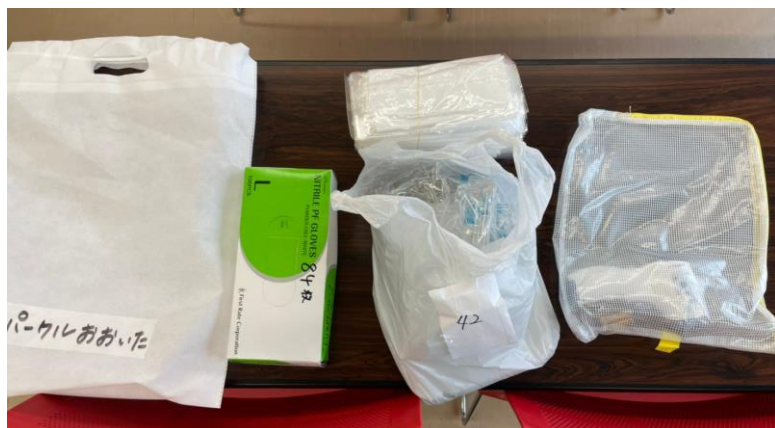


感染症対策備品

●配布物 (チームバブル)

監督会議にて各チームへ配布

▼マスク・ゴム手袋・フェイスシールド・非接触型検温機・アルコール消毒液



▼非接触型検温機



▼車両キット



▼消毒液・除菌シート・ゴミ袋 (車両キット内)



▼チームバブルを周囲へ認知させるバンド (選手を除いたチームバブルが使用)



感染症対策備品

●配布物 (コミセールバブル・セミバブル)

コミセールバブル：コミセール会議にて配布 セミバブル：大会事務局にて配布

▼マスク・ゴム手袋・フェイスシールド・アルコール消毒液



▼車両キット

▼消毒液・除菌シート・ゴミ袋 (車両キット内)



感染症対策備品

●現場

▼検温所テント



▼非接触型サーモグラフィシステム



▼アルコール消毒



▼防護服



▼看板



▼IP無線



富士山ステージの様子

▼スタート会場 検温所 2箇所



▼スタート会場 COVID19テント



▼フィニッシュ会場 検温所



相模原ステージの様子

▼スタート会場 検温所 2箇所



▼スタート会場 観戦自粛看板



▼フィニッシュ会場 検温所 2箇所



▼フィニッシュ会場 バブルゾーンing コーン



東京ステージの様子

▼検温所



▼COVID19テント



▼アルコール消毒



▼バブルゾーンング プラスチックフェンス



その他の様子

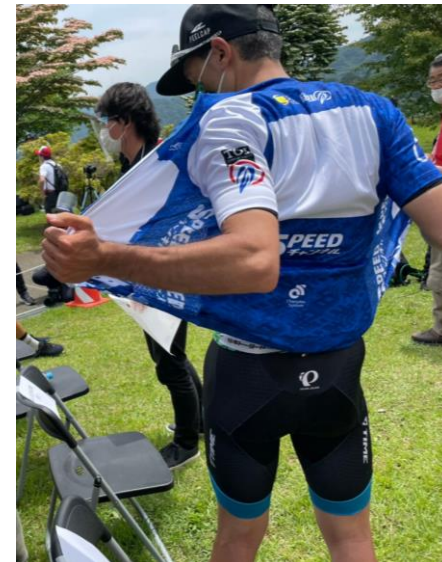
▼スタート時に選手のマスクを回収



▼表彰式では、大会マスクを選手にお渡し



▼選手自らジャージを着脱



▼会場内の椅子を消毒



▼ライセンスコントロールにて、アクリル板の使用





伊豆大島 IzuOshima
GojinkaRide 2021 

御神火ライド

2021年11月21日（日）開催

開催概要

イベント名（正式名）	伊豆大島 御神火ライド2021
シリーズ	伊豆大島ステージ
開催日	2021年11月21日（日）
申込期間	2021年8月6日（金）～2021年10月26日（火）
会場	仲の原園地（東京都大島町）
募集要項	参加資格：中学生以上の健康な男女 参加費：8,000円/名 定員：2コース合計700名 ・御神火チャレンジコース（71km） ・大島ぐるっ と一周コース（47km）
主催	伊豆大島御神火ライド実行委員会 【構成団体】 大島町、大島観光協会、大島町商工会、大島交通安全協会、大島町婦人会、大島防犯協 会、大島じてんしゃ協会、トウオンデザイン、NPO法人Kichi、東京都立大島海洋国際 高等学校、東海汽船、大島マリンサービス、大島バス、小田急トラベル、小田急エージェ ンシー、ルーツ・スポーツ・ジャパン
協賛	Dr.stretch、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、大島橋、長谷工不動産、海の精、 サイクルベースあさひ、コーワ(BTB) [順不同]
協力	ヤマト運輸
事務局	ツール・ド・ニッポン事務局 (ルーツ・スポーツ・ジャパン内) 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町12-21 コモンズビル7F TEL：03-3354-2300/FAX：03-3354-3901

伊豆大島御神火ライドにおける感染対策

伊豆大島御神火ライドにおける感染対策実施の概要

- (1)ホームページにおける関係者・参加者に向けた新型コロナウイルス感染対策について掲載及び周知
 - (2)大会1週間前後に参加案内書にて新型コロナウイルス感染対策について案内
 - (3)関係者・参加者は、大会開催2週間前からの健康状態の記録と大会当日の体温を所定の健康チェックシートに記入・提出を徹底
 - (4)大会会場における入場動線に検温所を設置し、発熱者や体調不良者は参加不可
 - (5)大会会場および沿道上のエイドに、手指消毒液及び注意喚起サインの設置（マスク着用、会話を控える、隣との間隔を空ける）
 - (6)エイドで配布する補給食は、飛沫対策として、一口サイズかつ個包装のものを準備
 - (7)フィジカル・ディスタンスに留意し、会場およびエイド内ではマスクを着用する
 - (8)以下に該当する方は、大会への参加を不可とし会場から退去する
 - ①過去2週間以内から大会会場来場当日までに、下記a～fを含む体調不良のある方
 - a. 発熱
 - b. 咳
 - c. 倦怠感
 - d. 息苦しさ
 - e. 喉の痛みなど風邪の症状
 - f. 味覚・嗅覚の異常
 - ①以下の行動調査項目に当てはまる方
 - a. 家族・同居人に発熱
 - b. 海外渡航^{※1}
 - c. 感染・感染疑いの方との濃厚接触の可能性^{※2}
- ※1：家族・同居人も含めた過去14日間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国、地域への渡航
※2：必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度以内）で15分以上接触があった場合

行動履歴・健康観察報告の提出

伊豆大島御神火ライドでは、関係者・参加者は大会当日から遡った2週間にわたり、体調不良や発熱等の症状がない旨を確認する健康チェックシートの提出を義務とした。

●方法

大会公式HPにてダウンロード可能な「新型コロナウイルス感染症対策のための健康チェックシート」を公開、事前のダウンロードまたは当日に準備されたチェックシートに必要事項を記入、車検受付時に用紙を提出する。

関係者にあたっては、事前配布されたイベント従事同意書類に、2週間の検温記録及び諸症状の有無、当日の計測体温を記入したものを事務局スタッフに提出する。

感染疑似症者発生時の対応

1. 検温所手前のテントへ収容
↓
2. 休憩後に再検温
↓
3. 大島医療センターに電話相談（医師の指示を仰ぐ）
↓
4. 帰宅する場合は東海汽船に引き渡し、可能な範囲で隔離しながらジェット船で帰宅へ

行動履歷・健康觀察報告

●概要

大会当日の2週間（11/8～11/21）以内に、所定の体調管理項目に当てはまる症状及び行動調査項目がないかチェックを行い、検温所で計測した当日の体温を記入し提出

●実施日

2021年11月21日

●対象者

伊豆大島御神火ライド参加者

●概要

大会当日までの2週間（11/8～11/21）の体温記録、期間内の体調管理項目および行動調査項目に当てはまるものがないかチェックを行い、当日計測した体温を記入し提出

●実施日

2021年11月8日～2021年11月21日

●対象者

イベント関係者

行動履歴・健康観察報告フォーム

新型コロナウイルス感染症対策のための健康チェックシート

提出書類

【提出書類】
 ①健康チェックシート：1人1枚（本紙）＜提出場所：検温所＞
 ②参加者チェックシート：1人1枚＜提出場所：検温所＞

【受付手順について】
STEP 1（検温所）：参加者全員が、車検前の「検温所」にて非接触型温度計による検温を行ってください。
 ▼
 ー体温が37.5℃以上および平熱よりも1℃以上高い熱がある方は、参加の辞退をお願いします。
STEP 2（検温所）：「健康チェックシート（本紙）」へ体温、その他症状についてご記入いただき提出
 ▼
STEP 3（受付窓口）：電子チケット（QuickTicket）を提示し、参加者証（ゼッケン）を受け取り、受付完了
 ※検温所および受付窓口にお越しの際はマスクを着用ください。
（飛沫を防止できるものであればBUFFのようなものでも可願ありません。）

【確認事項】
 ・当用紙はスポーツツールの定める「スポーツ関係の予防ガイドライン」を参照し、主催者が作成しています。
 エントリーいただいた皆さま、およびスタッフ全員に記入いただくものです。
 ・当用紙にご記入いただいた内容によっては、参加の辞退および会場からの退去をお願いします。
 ・当用紙に万が一、虚偽の申告が発覚した場合には、損害賠償などのご請求をさせていただきます。
 ・当用紙は事務局で保管し、保健所などからの要請があれば提出させていただきます。
 ・当用紙に記入欄はございませんが、イベント開催2週間前から毎日検温して体調管理をしてください。
 ・感染防止のために主催者が定めた措置・指示へご協力をお願いします。
 ・イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告をお願いします。

当日記入項目（会場検温所にてご記入ください）

体温 ※1	℃
-------	---

体調管理項目（過去2週間以内の症状についてお答えください）

発熱	あり・なし	悪寒しさ	あり・なし
咳	あり・なし	喉の痛みなど風邪の症状	あり・なし
倦怠感	あり・なし	嗅覚・味覚の異常	あり・なし

行動調査項目

家族・同居人に発熱	あり・なし	感染・感染疑いの方との濃厚接触の可能性 ※3	あり・なし
海外渡航 ※2	あり・なし		

※1 37.5度以上ある、または37.0度以上かつ平熱より1度以上高い方は参加の辞退および会場からの退去をお願いします。
 ※2 家族・同居人も含めた過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航
 ※3 本イベントにおいては「必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を併した距離（1m程度以内）で15分以上接触があった場合」に濃厚接触者と定義します。（厚生労働省の公式WEBサイト参照）

「確認事項」に同意をしました。
 上記の記入内容に間違いはございません。

イベント名：伊豆大島 御神火ライド2021 日付：2021年11月 日

No. 氏名

ツール・ド・ニッポン

参加者書式

伊豆大島御神火ライドイベントボランティア同意事項



伊豆大島御神火ライドイベントボランティアへご協力いただきありがとうございます。
 当日ご参加いただくにあたり、下記に同意の上、ご参加をお願いします。

■保険

- 第3者の介入のない事故による怪我は、主催者加入によるボランティア用傷害保険の範囲内の補償となります。加えて新型コロナウイルスを含む感染症への感染が保険の適用外である事をご承諾、認識し、上記認識の上任意に大会参加しているため、主催者への賠償責任は問わない事をご承諾します。補償内容に不安がある場合は、自ら保険に加入します。
- 主催者加入による保険の適用はイベント実施中のみとなりますので、集合場所までの移動などは保険適用外となります。
- 補償内容に不安がある方は、各自で保険に加入してください。（ご自身で保険に加入された場合は、必ず事前に補償内容・適応条件等をご自身でご確認ください。）
- スタッフ自身の過失による参加者またはイベントに関係のない、第3者への怪我・自転車や付属品の破損については、当事者間で処理をしてください。危害を被った場合も同様に当事者間で処理をしてください。

■以下の場合には主催者加入の保険適用外となります

- 主催者の責によらない第3者（参加者・関係者・ボランティア以外の一般車両・歩行者・観戦者等）との接触による事故等・会場・コース外での事故（会場への移動等）
- 自転車などの所有物の破損・紛失・盗難等
- 新型コロナウイルスを含む、感染症への感染、それによる通院・入院など

■注意事項

- 補償内容に不安がある方は、各自で保険に加入してください。ご自身で保険に加入された場合は、必ず事前に補償内容・適応条件等をご自身でご確認ください。
- 主催者の責によらない自身の過失による相手方の怪我・自転車や付属品の破損については、当事者間で処理をしてください。危害を被った場合も同様に当事者間で処理をしてください。

■大会に2週間前から体温の記録をお願いします。

11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日
℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
11月15日	11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日
℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

■会場で検温した体温をご記入ください。

当日記入項目

体温 ※1	℃
-------	---

■過去2週間内の症状についてお答えください。

発熱	あり・なし	悪寒しさ	あり・なし
咳	あり・なし	喉の痛みなど風邪の症状	あり・なし
倦怠感	あり・なし	嗅覚・味覚の異常	あり・なし

行動調査項目

家族・同居人に発熱	あり・なし	感染・感染疑いの方との濃厚接触の可能性 ※3	あり・なし
海外渡航 ※2	あり・なし		

- ※1 37.5度以上ある、または37.0度以上かつ平熱より1度以上高い方は参加の辞退および会場からの退去をお願いします。
 ※2 家族・同居人も含めた過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航
 ※3 「患者（確定例）」の感染可能期間に接触した者のうち、本イベントにおいては「必要な感染予防策をせずに手で触れること、接触があった場合」に濃厚接触者と定義します。（厚生労働省の公式WEBサイト参照）

「確認事項」に同意をしました。
 上記の記入内容に間違いはございません。

イベント名：伊豆大島 御神火ライド2021 日付： 月 日 氏名：

ボランティア従事場所：メイン会場・エイド・立哨員・その他



イベント関係者書式

会場における検温所体制

会場における検温所体制

伊豆大島御神火ライドでは、コロナ対策としてメイン会場入り口にて参加者への検温所の運営を行った。
検温所通過後には、計測した体温及び過去2週間の体調不良の有無の記入/提出が義務付けられている「健康チェックシートの記入台」が配置されていた。

補足事項

- ・沿道上的エイドにあっては、ゾーニングや検温所設置等は実施していない

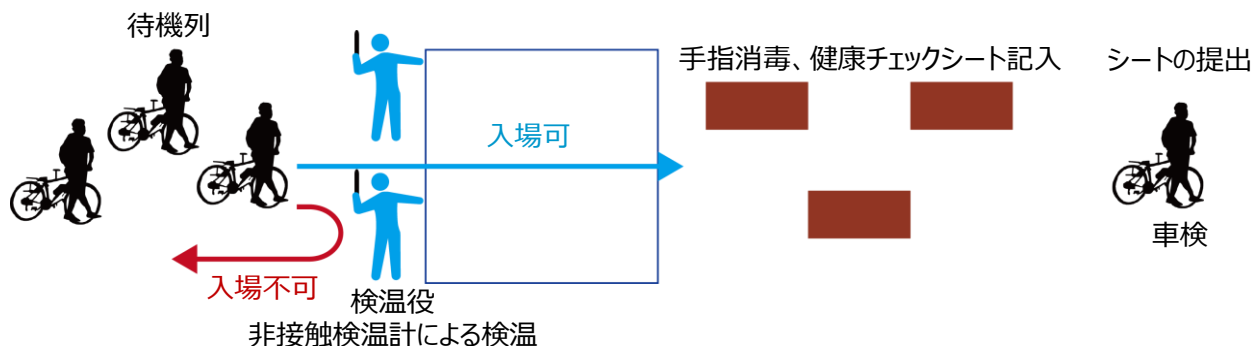
●検温フロー

検温所では以下のフローに従って入場の可否を判断する。

<入場可能> 検温所 37.4℃ 以下かつ、平熱より1℃を超えていない

<入場不可> 検温所 37.5℃以上または、37.0度以上で平熱より1℃以上超えている

●検温所レイアウト



●使用機材

非接触式体温計

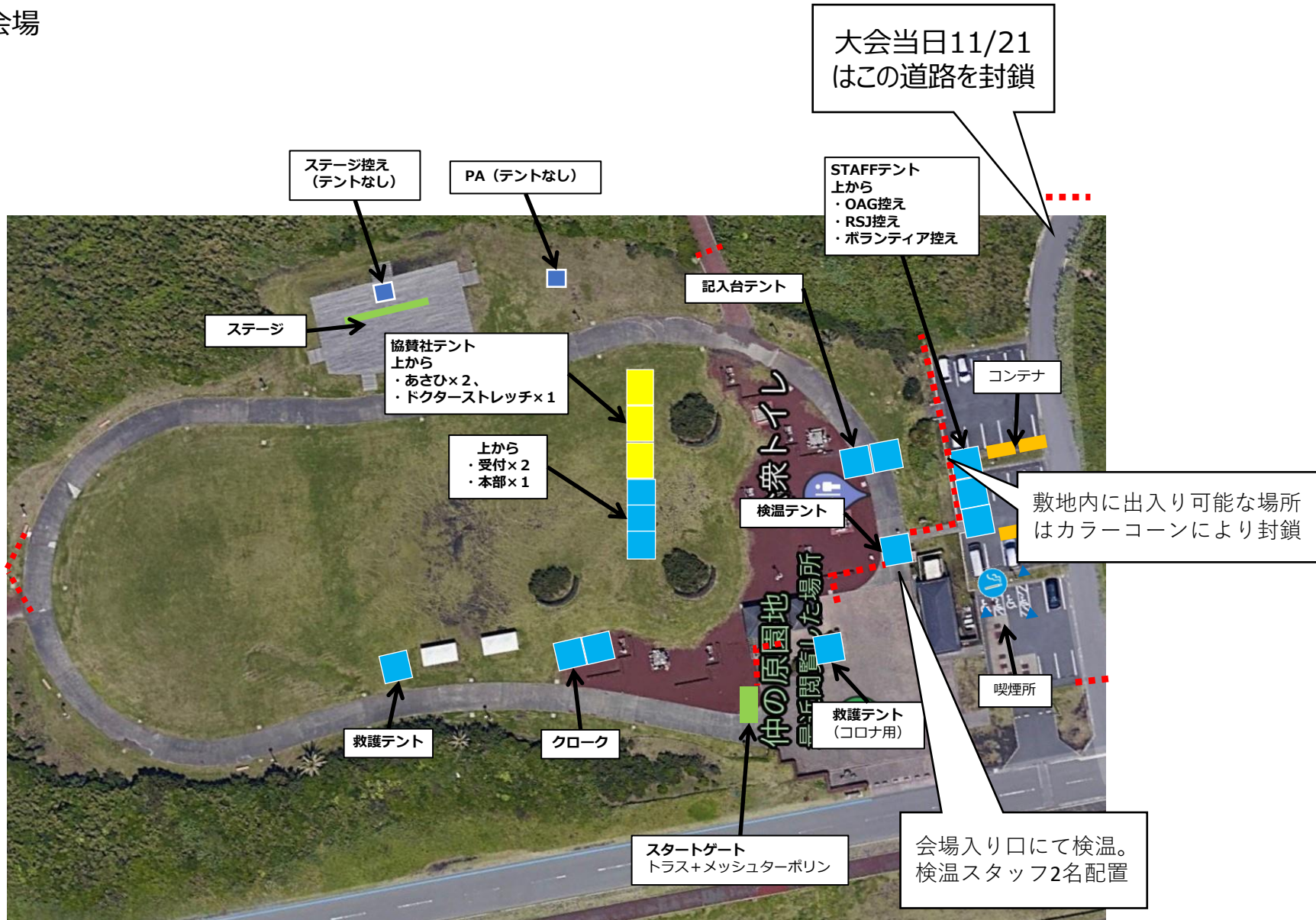


manunn

infrared non contact thermometer

会場における検温所体制

●メイン会場



結果報告

各会場における検温所 集計結果

イベントエントリー数：281名

11/20 大会前日（実測）

検温通過人数	70
受付時マスク未着用者数	1
特記事項	総受付数110名のうち70名を目視にて観察 69名のマスク着用を確認

11/21 大会前日

検温通過人数	258
受付時マスク未着用者数	14
出走待機時マスク未着用	25
特記事項	目視にて観察 受付時未着用：約8% 出走待機時未着用：10%

検温テントでの体温計測の様子



出走待機時の様子



考察まとめ (1/2)

1. メイン会場

- ・スタッフが適宜案内しないと感染対策は徹底されないため、会場アナウンスなどすることが望ましい。
- ・参加者は悪気はなくマスク着用などを忘れていた方が一定数存在する。
- ・出走前のマスク着脱のタイミングについては、明確にアナウンスする必要がある。また、理想としては出走直前に外して会話を控えるようにアナウンスすることが望ましい。

2. 行動履歴と健康観察入力

- ・参加者の提出率は車検時の提出もあり100%かつ、全員に感染疑いのある回答は0件であった。
- ・関係者においても体調不良等による参加辞退者は0件であった。

3. 検温所の体制

- ・検温機器について
使用した機器については、1名ずつ額に機器をかざして検温するタイプの非接触式検温機のため、1人当たりの計測に時間がかかり待機列ができる。

4. 沿道上的エイド

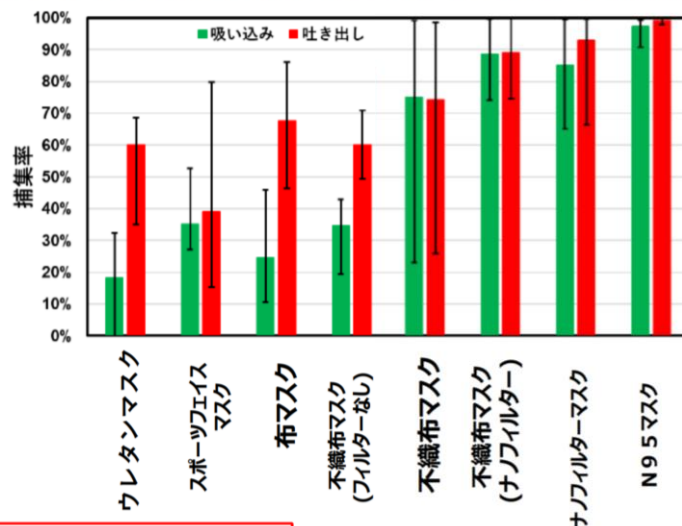
- ・マスクの着用についてはメイン会場同様だが、飲食受取時に2~3割の方は未着用であった。また、その中で外国人参加者の割合が高かった。原因としては単純に忘れていたものと推測されるため、呼びかけを行うことで着用が期待できる。一方で、終日通して着用していない参加者も見られた。
- ・エイド到着直後は疲労しているため、マスク着用が難しい場合には、周囲と距離を保って休憩をし着用をしていただくことが望ましい。
- ・補給食等の受け渡し場所とゴミ箱は隣接していたため、衛生面をふまえて離して設置することが望ましい。
- ・エイドスタッフはマスク・フェイスシールド・手袋を着用し、参加者へアルコールでの手指消毒を促していた。
- ・ドクターストレッチによる施術の際、選手がマスクをしていない状況で会話をしながら進めていることがあり、類似するサービスの提供がある場合にはマスク着用をお願いするか、替えのマスクをお渡しできるような体制をとることが望ましい。

5. マスクの統一ルール

- ・ 公的に発表されている材質別マスクの性能については、下記の表にある通りN95マスクや不織布マスクと比べた際、吸い込み時の飛沫捕集（図中：緑色線）の性能に大きな差が出てしまう。
関係者・参加者全員が不織布マスクを着用することが望ましいが、ルールとして厳格化し運用するのは難しいこともあり、最終的な判断については開催地の感染状況に応じた合理的な判断が求められる。

市販マスクの性能（実測値）

● 人が装着した場合の吸い込み，吐き出し時の性能



理研・坪倉先生の資料を基に内閣官房で編纂

内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室HP
R3年6月25日付け内閣府特命担当大臣会見資料より抜粋

会場・エイドの様子

メイン会場の様子

▼検温所テント



▼非接触型サーモグラフィーシステム



▼健康チェック記入台・アルコール消毒



▼書類提出・車検受付



▼電子チケット受付



▼完走証発行



エイドの様子

▼給食・給水スタッフ



▼地元高校生による特産食材の紹介



▼ストレッチ施術風景



▼個包装された補給食



エイドの様子

▼エイドにてマスク着用せずに補給食を受け取る一部の参加者





2022年1月22日（土）、23日（日）

開催概要

- 開催日 : 2022年1月22日(土)・23日(日)
- 開催時間 : 9:30~16:50(23日16:30まで)
- 会場 : 科学技術館催物場(1~5号館) (<http://www.jsf.or.jp/access/map/>)
- 主催 : (一財)日本自転車普及協会 自転車文化センター
- 後援 : 自転車活用推進議員連盟/自転車活用推進本部

■展示内容

国内ハンドメイドバイシクルビルダー、パーツメーカーが経験と実力で生み出した「独創性あふれる自転車」や斬新な機構を取り入れた「独創性の高いパーツ」の展示、自転車ビルダー、スペシャルゲストによる「トークショー」など様々な企画を予定しております。

■トークイベント等

ハンドメイドビルダー及び著名人によるトークイベントを開催します。

Web配信有(予定)

- 入場料 : 無料 ※ハンドメイドバイシクル展のみのご見学は無料です。

2022ハンドメイドバイシクル展 出展社（ビルダー）一覧

出展社一覧（50音順）

2日間不参加

アトリエ・キノピオ

日曜のみ参加

あぶくま自転車工房

アマンダスポーツ&ミニラボ アマンダ

WELD ONE OGRE Bicycle

EQUILIBRIUM CYCLE WORKS

エム.マキノサイクルファクトリー

エンマバイシクルワークス

絹自転車製作所

近藤機械製作所

今野製作所

コンポジットテクノ株式会社

サイクルグランボア

サイクルストア-オカダ

SANO MAGIC

大和紡績株式会社

たつみ商会

東叡社

東京サイクルデザイン専門学校

東京サンエス

ドバツツ・ライノ・ハウス

日直商会

日東

BIKE & HIKE

バイシクルわたなべ

ビチスポーツ モリアイ

BYOB Factory Tokyo

5LINKS.CO.Ltd

フジチカ

プロショップ タカムラ製作所

平和技術研究所

Helavna Cycles

堀田製作所

本所工研

macchi cycles

マツダ自転車工場

丸屋自転車

三ヶ島製作所

山音製輪所

（全38社）

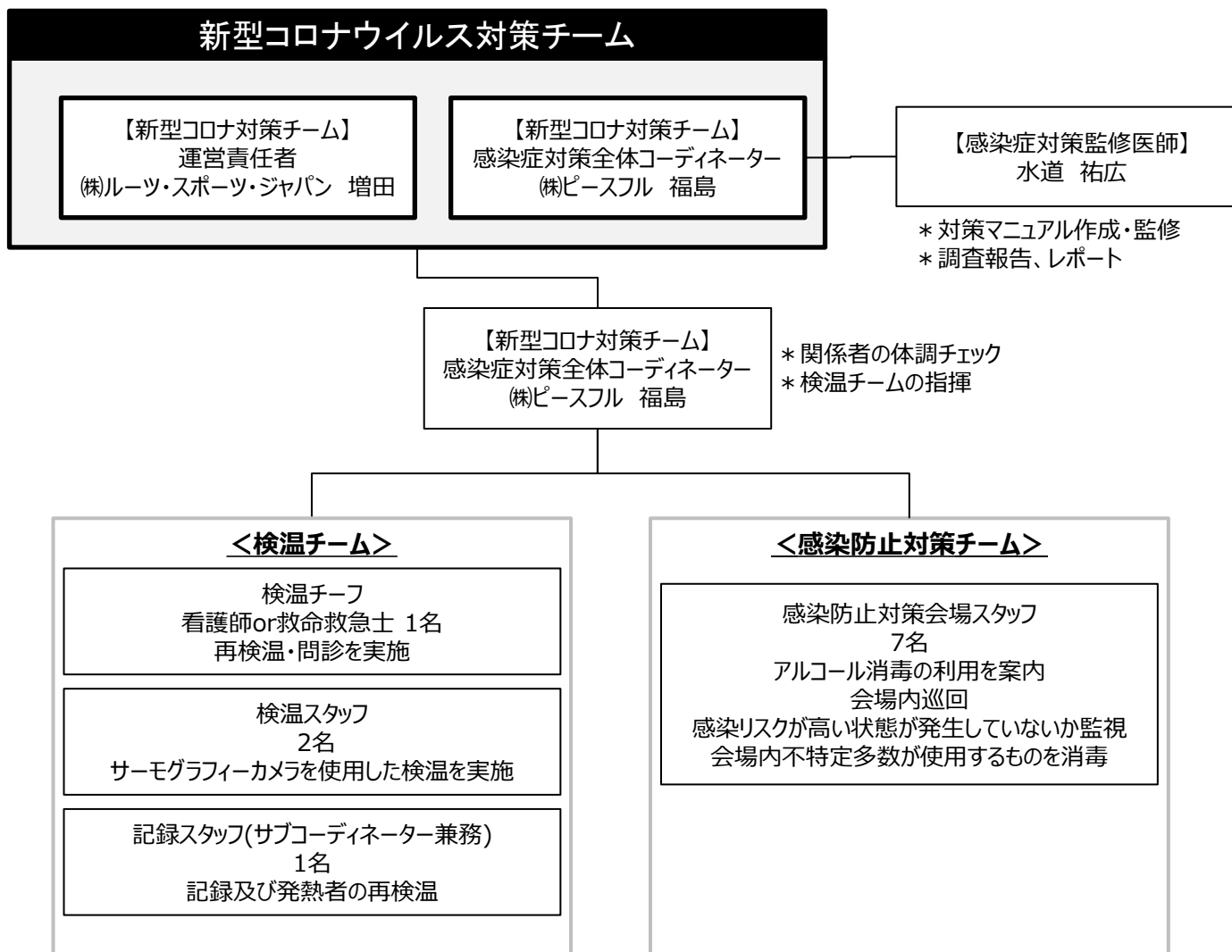
2022ハンドメイドバイシクル展における 感染対策実施の概要（感染対策マニュアル抜粋）

- (1)感染症対策チームの設置、帯同
- (2)HMBホームページにおいて関係者・来場者に向けた本ガイドラインの掲載及び周知
- (3)関係者は、イベント開催2週間前から体調チェックを行い、会場入りをする前日までの記録を所定のフォームにて提出徹底
- (4)関係者は、イベント終了後1週間は各自の体調変化に留意し、発熱や体調不良等の症状が表れた場合は、主催者に申告し、濃厚接触者等の確認を行う
- (5)イベントで規定された関係者は、会場入り日の24時間以内に抗原検査（定性または定量）を受け、陰性を確認
- (6)感染者発覚後の隔離（スペース確保を含む）、医療機関受診、濃厚接触者の確認等プロセスの明確化
- (7)感染症罹患が発生した場合に備え、各開催地における医療機関や保健所と連携を図る
- (8)会場における入退場動線作成及びサーモグラフィー設置による検温を実施し、発熱者や体調不良者は入場禁止
- (9)会場の各所に、手指消毒液及び感染防止対策注意喚起看板を配置
- (10)イベント会場や公共の場におけるウイルスや飛沫が付着した可能性があるゴミ類（マスク、ティッシュペーパー、紙類、ペットボトル等飲食に使用した容器や包装、カトラリー等）の放置・廃棄禁止、密閉の上、持ち帰りを徹底
- (11)フィジカル・ディスタンスに留意し、常時マスクを着用する
- (12)各食事会場、食事中においては、フィジカル・ディスタンスに留意し、極力会話を控え、会話が発生する場所では飛沫防止パネルを設置する。

感染対策の具体的実施事項

- (1) ホームページにおいて来場者に向けた新型コロナウイルス感染対策について掲載及び周知
- (2) イベント開催の約3週間前、出展者向け案内状による2週間の健康チェック及び抗原検査実施の事前告知
- (3) 健康チェックフォームURLの案内及び抗原検査キットの送付
- (4) 出展者及び関係者は、大会開催2週間前からの健康状態の記録と大会当日の体温を所定の健康チェックフォームに入力・送信を徹底
- (5) ブースに常駐する出展者及び関係者は、会場入り初日の24時間以内に抗原検査を実施し、結果をフォームに入力に徹底
- (6) 会場内動線を一方通行とし、入口に検温所を設置し、発熱者や体調不良者は参加不可
- (7) 会場入り口及び会場内に手指消毒液及び注意喚起サインの設置（マスク着用、会話を控える、隣との間隔を空ける）
- (8) フィジカル・ディスタンスに留意し、会場内では不織布マスクを着用する
- (9) 以下に該当する方は、イベント会場への来場を控えていただき、入場不可とする
 - ①過去2週間以内から来場当日までに、下記a～fを含む体調不良のある方
 - a. 体温 37.5℃ 以上
 - b. 強い倦怠感
 - c. 感冒様症状（咳、咽頭痛、息苦しさ等）
 - d. 味覚・嗅覚異常などの異変がある
 - e. 喉の痛みなど風邪の症状
 - f. 味覚・嗅覚の異常
 - ②PCR、LAMP、抗原検査受診結果が陽性で、下記a～dに該当する方
 - a. 有症状で、発症日から10日未満、かつ症状軽快後72時間以内
 - b. 症状軽快後24時間経過から、24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR検査で陰性を確認できていない
 - c. 無症状病原体保有者では、陰性確認から10日未満
 - d. 検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR検査陰性を確認できていない
 - ③濃厚接触者として自宅待機中、または家族が濃厚接触者として自宅待機中
 - ④家族に①のa～dいずれかの体調不良者がいる

感染対策チーム組織体制図



2022ハンドメイドバイシクル展における感染対策

感染対策マニュアル作成

主催者、感染対策チーム、その他主要運営スタッフに配布（全18ページ）



INDEX	
■はじめに	
本マニュアルの目的	3
用語の定義	3
■HMB開催におけるCOVID-19 対策ガイドライン	
HMB開催における対策事項	5
開催期間中の注意点まとめ	7
■HMB開催中止の判断基準	
開催中止の判断基準	8
■健康観察報告	
健康観察報告フォームの提出	9
■コロナ対策チーム	
組織体制図	10
■コロナ対策連絡先一覧	
コロナ対策担当者/保健所	11
■会場における検温所体制	
検温所の概要	12
会場全体図	13
ブース配置図	14
■会場設置注意喚起看板	
注意喚起看板	15
■感染疑い発生時の対応フロー	
感染疑い発生時の対応フロー	16
感染疑い発生時の対応フロー（陽性確定時）	17
■コロナ対策備品リスト	
コロナ対策備品リスト	18

健康観察・行動履歴報告の申請フォームの提出

2022ハンドメイドバイシクル展では、出展者及び関係者にイベント当日から遡った2週間にわたり、体調不良や発熱等の症状がない旨を確認する健康観察・行動履歴報告の申請フォームの提出を義務とした。

●方法

事前案内に記載したQRコードからアクセス可能な「新型コロナウイルス感染症対策のための健康チェックシート」を公開、必要事項を入力し送信する。フォームによるオンライン提出のできない場合には、手書きによる健康観察・行動履歴報告用紙を送付し、当日提出を受け付けた。

なお、フォームにあってはGoogleフォームを使用した。

抗原検査の実施・結果の申告

ブースへ常駐する出展者2名及びイベント関係者に抗原検査キットを送付し、会場へ入る24時間以内に検査を行うことを義務とした。

●方法

ビルダー各社ごとに抗原検査キット2個を送付。

検査実施のタイミング（会場に入る24時間以内）をキットに同封した案内状に記載。

検査の結果は、健康観察・行動履歴報告の申請フォームに抗原検査結果の入力欄を設け、陰性／陽性／常駐しないのいずれかを回答必須項目として設定し、回答率が100%となるようにした。

2022ハンドメイドバイシクル展における感染対策

感染疑似症者発生時の対応

<対応手順>

1. 検温にて37.5度以上を検知
2. 再検温車両へ移動
3. 問診及び再検温
4. 発熱または問診の結果、感染が疑われる場合は入場不可の判断
5. 緊急性がある場合は救急搬送、緊急性がない場合は帰宅

感染対策員の配置

会場内の感染対策として感染対策員による清掃を実施、商談ブース等の利用者が頻繁に利用するものの消毒を実施する。また、密になっているブース等がある場合には、声掛けを行う。

●方法

清掃員にはグローブ、消毒スプレー、ペーパータオルを携行させて会場内を巡回及び定点監視を行う。商談が終了したテーブルおよび椅子は、携行品を使用して速やかに消毒を実施する。監視中に密となっている方を発見した際には、密にならないよう声掛けを行う。

混雑状況表示モニターの設置

会場内の感染対策として、混雑具合を広報する混雑状況表示モニターの設置を実施する。科学技術館の収容上限人数700名に対し、来場者の入場規制は関係者100名を引き、多少余裕をみて**550名**以内を保つように運用を行う。

●方法

混雑状況を4段階に分け、会場内に滞在している来場者の集計を行い、混雑具合及び入場制限を実施する。

【青：空き、ピンク：普通、赤：混雑、黒：入場制限】

集計は毎時0分に入場者数から退場者数引き、会場内に滞在している人数を求める。

初日の人数設定、200名まで青、400名までピンク、550名まで赤、550名を超えた場合には黒の入場規制とした。

2日目は集計のタイムラグを踏まえで100名まで青、250名までピンク、400名まで赤、400名を超えた場合には黒の入場規制とした。

行動履歷・健康觀察報告

●概要

大会当日の2週間（1/8～1/21）以内に、所定の体調管理項目に当てはまる症状及び行動調査項目がないかチェックを行い提出

●実施日

2022年1月21日

●対象者

2022ハンドメイドバイシクル展出展者及び関係者

行動履歴・健康観察報告フォーム

HANDMADE BICYCLE 2022 関係者健康チェックフォーム

こちらは【HANDMADE BICYCLE 2022】健康観察・行動履歴報告の申請フォームです。
下記の期間についてのご自身の体調について、虚偽のないよう入力をお願いします。

<健康チェック該当期間>
1月6日（土）～1月21日（金）の2週間

<入力方法について>
チェック開始の最終日の【1月21日（金）】にご入力ください。
健康チェック該当期間内における、該当の項目に当てはまる症状・行動についてご回答ください。
全項目の回答が必須となりますので、入力の際れ・間違いがないかご確認の上、送信してください。
自動送信でご登録いただいたメールアドレスに申請内容が送られますのでご確認ください。

<抗原検査の結果について>
本フォームの最後に、抗原検査の陰性または陽性のチェック項目がございます。
回答必須となりますので、健康観察・行動履歴報告と合わせて入力し、送信してください。

<情報の取り扱いについて>
記載いただいた個人情報は、本大会の健康観察管理以外には使用しません。
ご本人の同意がない場合は第三者へ個人情報を提供することをご留意ください。
取得した個人情報は管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう適切な安全管理を実施いたします。

氏名および所属、メールアドレス、ご連絡先電話番号を必ずご入力ください。

tk.yamawaki@gmail.com アカウントを切り替える

*必須

メールアドレス*

メールアドレス

イベント会場入りについて*

経路の選択予定を把握するために、いつから会場に入るかを選択してください。

1月21日（金）
 1月22日（土）
 1月23日（日）

氏名*

回答を入力

所属*

回答を入力

ご連絡先電話番号*

回答を入力

次へ

1/3 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。
このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#)・[お問い合わせ](#)・[プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

HANDMADE BICYCLE 2022 関係者健康チェックフォーム

tk.yamawaki@gmail.com アカウントを切り替える

*必須

行動履歴・健康チェックについて

以下、健康チェック該当期間【1月6日（土）～1月21日（金）まで】のうち当てはまる項目の有無についてご回答ください。

37.5℃を超える発熱がない*

はい
 いいえ

せき、のどの痛みなどの風邪症状がない*

はい
 いいえ

たるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない*

はい
 いいえ

嗅覚や味覚の異常がない*

はい
 いいえ

体が重く感じる、たるいなどの症状がない*

はい
 いいえ

新型コロナウイルス感染症陽性と診断された人と濃厚接触がない*

はい
 いいえ

同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいない*

はい
 いいえ

過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当国との濃厚接触がない*

はい
 いいえ

戻る 次へ

2/3 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。
このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#)・[お問い合わせ](#)・[プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

HANDMADE BICYCLE 2022 関係者健康チェックフォーム

tk.yamawaki@gmail.com アカウントを切り替える

*必須

抗原検査の結果報告

*必ず、【会場入り日の2週間以内】に抗原検査を実施してください。

実施した抗体検査の結果*

陰性
 陽性

画像のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

戻る 送信

3/3 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

reCAPTCHA
このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#)・[お問い合わせ](#)・[プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

集計結果

<ビルダー>

回答者数	37団体 71名、568回答（1人/8問）
体調不良なし	568件
体調不良あり	0件
抗体検査回答	陰性56、陽性0
※"常駐しない"に回答	15名

<関係者・スタッフ>

回答数	3社 25名、200回答（1人/8問）
体調不良なし	199件
体調不良あり	1件
抗原検査回答	陰性24、陽性0
※"常駐しない"に回答	1名

会場における検温所体制

会場における検温所体制

2022ハンドメイドバイシクル展では、コロナ対策として会場入り口にて参加者への検温所の運営を行った。

検温所通過後には、記録員が来場者のマスク着用を確認し、無着用または不織布以外のマスクを着用している方へ声掛け、交換用マスクを提供し交換を促した。

補足事項

- ・2日間通して1名のみ、マスク交換拒否があった（30代男性）

●検温フロー

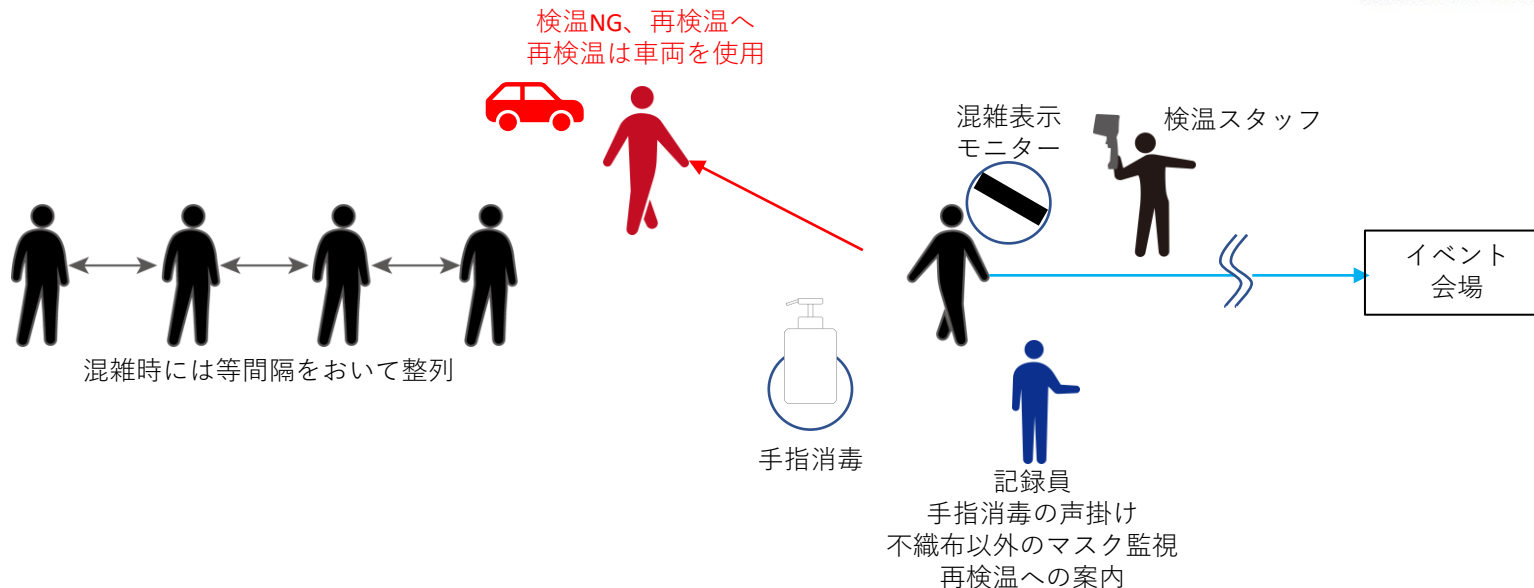
検温所では以下のフローに従って入場の可否を判断する。

<入場可能> 検温所 37.4℃ 以下

<要再検温> 検温所 37.5℃ 以上

<入場不可> 再検温所 37.5℃ 以上 または 問診内容に感染の症候等あり

●検温所レイアウト



●使用機材

サーモグラフィーカメラ

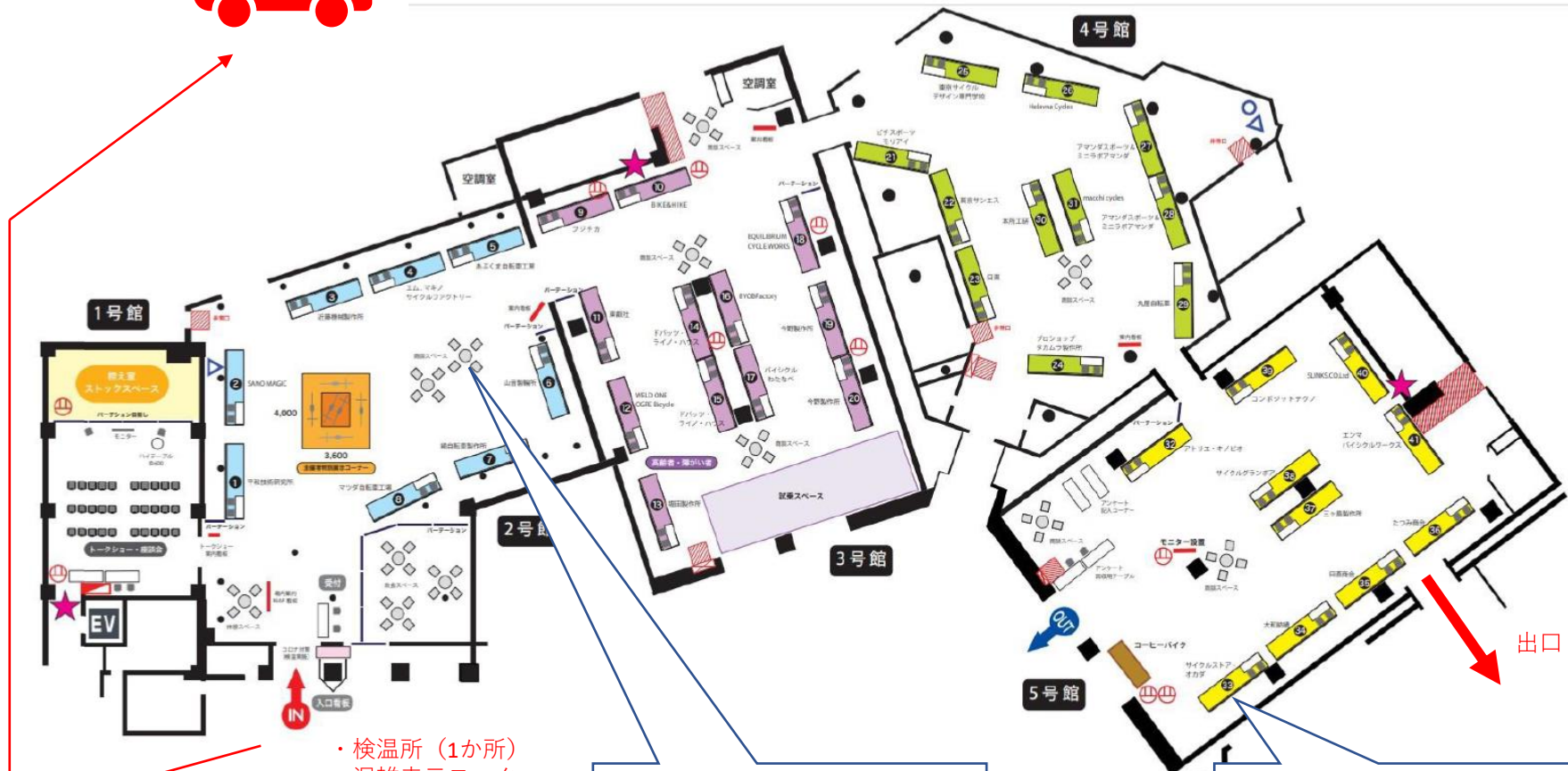


機種名：FLIR E4-XT

会場における検温所体制

●メイン会場

再検温車両
(会場裏駐車場)



- ・検温所 (1か所)
- ・混雑表示モニタ
- ・交換マスク配布

商談テーブル
全テーブルにアルコールを配置

各出店ブース
全ブースにアルコールを配置
フェイスシールドを配布

結果報告

各会場における検温所 集計結果

1/22 イベント1日目

入場者数	683
マスク未着用者数	0
不織布マスク未着用数	88
特記事項	1名不織布マスクへの交換拒否し入場

1/23 イベント2日目

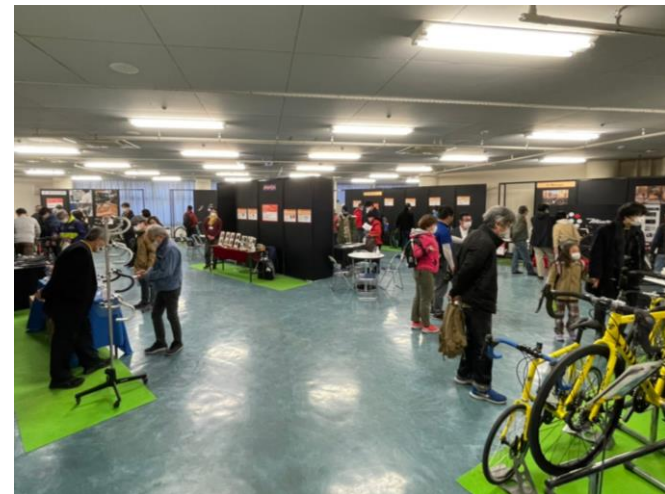
入場者数	696
マスク未着用者数	5
不織布マスク未着用数	98
特記事項	

2日間合計入場者数	1379
-----------	------

検温所の様子



会場内の様子



考察まとめ (1/2)

1. 関係者の管理に関する事項

- ・健康チェックフォームの入カタイミングを1/21(金)に限定したことにより、管理業務を簡素化し効率的な管理が可能であった。
- ・事前情報により、手書きフォームの送付及び提出案内をスムーズに行うことができた。
- ・1/21(金)の搬入日にあたっては、早々に搬入が完了したビルダーの方々の検温ができなかったため、搬入日においてもチェックインを実施する案内の周知徹底を行うことが望ましい。
- ・イベント当日、一般入場開始の10時以降に来場したビルダーの方が、検温や健康チェックを済ませずにブースへ入るといったことがあったため、出展者用入場口を限定して設けることや、関係者名簿を作成することが望ましい。
- ・ブース常駐者が事前に把握できておらず、3名以上であったり、日によって人が入れ替わるといったパターンが見られたため、こちらもまた事前のヒアリングにより会場入りする関係者の把握及び抗原検査を実施することが望ましい。
- ・出展型イベントにおいて、出展社の検温を徹底するのであれば、検温所の動線徹底と、出展社が来場するまでに検温体制を整えるための運営スケジュール設定が望ましい。なお、イベント当日開場前の出展者はブースオープンに急ぐため、それも考慮した時間設定が望ましい。

2. 健康チェック・抗原検査に関する事項

- ・健康チェックの提出率は100%かつ、感染疑いのある回答は0件であった。
- ・抗原検査にあたっては同様に100%かつ、全て陰性であった。ただし、誤って「陽性」を入力した方が若干名いたので確認が必要である。
- ・ビルダーによっては1名でご参加というパターンが10件以上あり、各社へ送る抗原検査キットの必要数は事前にヒアリングを行うことで余分な検査キット送付を防止することができる。

3. 検温所の体制に関する事項

- ・入場口が狭く、また混雑表示モニターの設置をしたため、検温は1台1名を配置して運用を行った。
- ・不織布マスク着用のチェックは、記録員が実施及び交換の声掛けを行い、2日間で合計203枚のマスク交換・配布を行った。
- ・混雑表示モニターにあっては600名の上限に対して初日は-50名としたが、混雑状況を踏まえ-200名とした。
- ・混雑表示モニターは11時の段階で青からピンクに変更し、終了時間直前までは常時ピンクのままであった。

4. 会場内の管理に関する事項

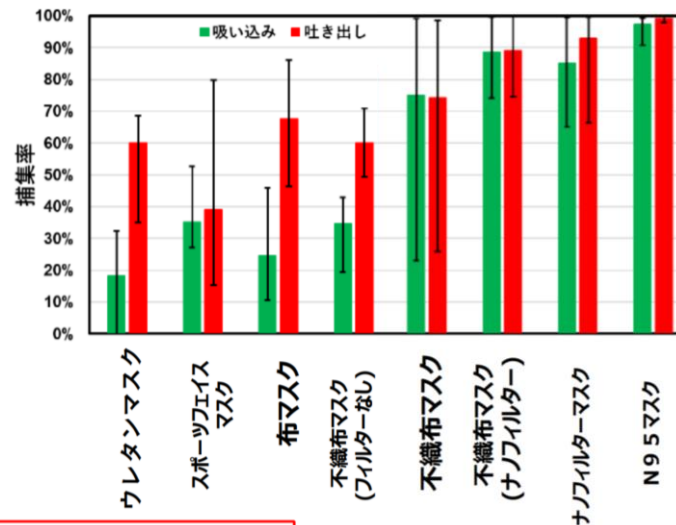
- ・感染対策員の定点監視により使用済み商談ブースの消毒作業を効率的に行うことができた。
- ・会場内に滞留する来場者は、終日平均して180名程度となり、あまり混雑する状況とはならなかった。
- ・フェイスシールドの着用については任意であったため、着用率がとても少なかった。

5. マスクの統一ルール

- ・ 原則として関係者・来場者の全員が、会場内では不織布マスクを着用することとした。
- ・ 一部来場者にあたっては、マスク交換のお願いをした際にトラブルに発展する恐れがあったため、周囲との距離をとっていただくことを条件にそのまま入場した。
- ・ 入場動線としては、検温を通過し会場に入った方へマスク交換の声掛けをしていたが、100%の運用を目指すためには入場する前に対象者の確保と交換のお願いし、また不織布マスクをしたくない方には入場させないという判断も必要である。
- ・ 本イベントは入場無料かつ交換用マスクを準備し、HP上での不織布マスク着用をお願いしているという状況から、不織布マスクを着用しない来場者に対し、入場をお断するといった毅然とした対応をして良いのではないかと思われる。

市販マスクの性能 (実測値)

● 人が装着した場合の吸い込み、吐き出し時の性能



理研・坪倉先生の資料を基に内閣官房で編纂

内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室HP
R3年6月25日付け内閣府特命担当大臣会見資料より抜粋

会場の様子/手配物

手配備品一覧

【関係者配布物】

備品	手配数	配布数	備考
フェイスシールド	130個	110個	出展社用 + 全体運営
不織布マスク（個包装）	50個	20個	関係者配布用（忘れた方）
不織布マスク（個包装なし）	500個	200個	来場者配布用（忘れた方）

感染症対策スタッフは
下記のビブスを着用



【検温所・コロナ対策チーム所持】

備品	数量	配布数	備考
非接触型サーモグラフィ	2	2	FLIR E4-XT
ハンディタイプ非接触型検温機	2	2	
会場内検温所及び注意喚起看板	6	6	
防護服	5	5	
消毒液ボトル設置テーブル	2	2	
飛沫防止パネル	12	12	商談テーブル用
除菌シート（100枚入り）	10	10	
アルコール消毒液（プッシュポンプ） 500ml	61	61	商談テーブル/ビルダー/検温所
アルコール消毒液（ハンドスプレー）	10	10	対策スタッフ消毒作業用
携帯手指消毒液	10	10	対策スタッフが携行
会場内混雑度表示用パソコン	1	1	
感染症対策スタッフビブス	22	22	



機種名：FLIR E4-XT

会場内の様子

▼検温の様子及び混雑表示モニタ



▼不織布マスクの配布（来場者）



▼ビルダー各社の検温



▼清掃員による商談ブース消毒の様子



▼感染対策員の定点監視の様子



▼再検温用車両



手配納品物

▼マスク（個包装あり／個包装なし）



▼会場内の注意喚起サイン（2種類）



▼サーモグラフィ



▼フェイスシールド



▼消毒液



▼飛沫防止パネル



▼防護服



参考・出典文献

○UCI（国際自転車競技連合）

「Emergency rules to be followed for the resumption of the road cycling season in the context of the coronavirus pandemic – コロナウイルスパンデミックに関連したロードシーズン再開にあたって守られるべき手順について」

<https://www.uci.org/road/news/2020/covid-19-pandemic-how-to-return-to-cycling-events>

○公益財団法人日本自転車競技連盟

「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて」

https://cutt.ly/JCF_guidelineaboutcovid-19

○公益財団法人日本スポーツ協会

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>

○公益財団法人日本博物館協会

「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

https://www.j-muse.or.jp/02program/pdf/jam_covid_guideline_20211014.pdf

○厚生労働省

「新型コロナウイルス感染症について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○厚生労働省

「感染拡大防止と医療提携体制の整備－受診・相談センター／診療・検査医療機関等」

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kansenkakudaiboushi-iryouteikyoku.html#h2_2

○厚生労働省

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000678571.pdf>

○国土交通省

「新型コロナウイルス感染症に関する国土交通省の対応」

https://www.mlit.go.jp/kikikanri/kikikanri_tk_000018.html

○東京都防災ホームページ

「【1月21日から2月13日】まん延防止等重点措置 イベントの開催制限等」

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1009757/1020864.html>

調査実施団体

- ・ 一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

【所在地】 〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町12-21 コモンズビル7F

【TEL】 03-3354-3900

【FAX】 03-3354-3901

- ・ 株式会社ピースフル

【所在地】 〒252-0232
神奈川県相模原市中央区矢部3-9-14 カスミビル1階

【TEL】 042-856-3995

【FAX】 042-856-3994